

筑後市

新型コロナウイルス 感染症緊急対策

令和2年度事業（第1弾～第8弾）の総括

筑後市

令和3年9月3日

目次

第1弾から第8弾までの決算状況一覧.....	3
第1弾.....	6
1 筑後市新型コロナ感染拡大防止休業支援金(第1弾).....	7
2 ちくご市がんばる家族支援事業.....	8
3 中小企業向け融資枠の増資.....	9
第2弾.....	10
1 筑後市新型コロナ感染拡大防止休業支援金(第2弾).....	11
2 デリバリー・テイクアウト支援.....	12
3 ちくご市がんばる家族支援事業.....	13
4 家族 de 絵本プロジェクト.....	14
5 筑後市奨学金給付事業.....	15
6 就学援助対象者への特別給付金.....	16
7 内定取消者・失業者等の緊急雇用.....	17
第3弾.....	18
1 ひとり親家庭緊急応援金.....	19
2 GIGA スクール1人1台パソコン整備.....	20
3 教育施設の衛生環境改善事業.....	21
4 防災備蓄整備事業.....	22
5 感染症拡大防止事業(衛生資材等購入).....	23
第4弾.....	24
1 高齢者見守り訪問事業.....	25
2 避難所等感染防止対策事業.....	26
3 小中学校保健事業.....	27
4 学校 ICT 環境整備事業.....	28
5 プレミアム商品券発行事業補助金.....	29
6 飲食店応援クーポン発行事業.....	30
7 サザンクス筑後感染防止対策事業(国庫補助活用).....	31
8 臨時特別出産祝金.....	32
9 就学援助拡大事業.....	33
10 筑後市新型コロナウイルス感染症対策家賃応援給付金.....	34
第5弾.....	36
1 行政区活動感染症拡大防止対策事業.....	37
2 Web 会議環境整備事業.....	39
3 スマホアプリ収納環境構築事業.....	41
4 障害者福祉施設等従事者慰労金.....	43
5 高齢者施設等従事者慰労金支給事業.....	44
6 保育施設従事者慰労金.....	45
7 保育施設感染症対策支援事業.....	46
8 「新しい生活様式」移行支援事業.....	47
9 医療機関等従事者慰労金.....	48

10 筑後市持続化給付金支給事業.....	49
11 筑後市観光バス・タクシー・宿泊事業者応援給付金	51
12 救急車等への除染装置配備.....	52
13 学習支援員等配置事業.....	53
14 小中学校再開支援事業【第1弾】	54
15 公共施設予約システム.....	55
第6弾.....	56
1 防災支援体制整備事業.....	57
2 筑後市家庭学習環境整備支援事業.....	58
第7弾.....	60
1 プレミアム商品券発行事業補助金【第2弾】	61
2 小中学校再開支援事業【第2弾】	62
3 小中学校修学旅行キャンセル料	63
第8弾.....	64
1 議会 ICT 化事業.....	65
2 行政手続オンライン化（コンビニ交付）事業.....	66
3 失業者支援給付金事業.....	67
4 介護認定審査会リモート環境整備事業	68
5 臨時特別出産祝金	69
6 筑後市立病院交付金（新型コロナウイルス感染症対策分）	70
8 新入生支援事業.....	71
9 飲食店応援クーポン発行事業【第2弾】	72
10 筑後市指定管理者事業継続支援金（恋ぼたる）	73
11①中学校特別教室への空調整備事業（羽犬塚中）	74
11②中学校特別教室への空調整備事業（筑後北中・筑後中）	75
12 筑後市指定管理者事業継続支援金（サザンクス）	76
13 図書行政推進（電子図書、書籍消毒機）	77

第1弾から第8弾までの決算状況一覧

注 この表は第1弾から第8弾として取り組んだコロナ対策事業に係るものを挙げています（網掛け行は繰越事業）。

注 国庫補助事業など、この表に挙げていない地方創生臨時交付金事業があるため、下表の地方創生臨時交付金額（令和2年度、繰越事業）と令和2年度の交付決定額678,418千円が一致していません。

注 予算額は最初に計上した額で、その後の補正減等は反映していません。

注 決算額等は千円未満を四捨五入しているため、実際の金額と一致しない場合があります。

連番	対策弾数	一覧番号	対策事業名称	議決日	予算額	令和2年度				繰越事業			
						決算額				繰越予算額			
						地方創生臨時交付金	国補助金等 その他財源	一般財源	地方創生臨時交付金	国補助金等 その他財源	一般財源		
-	-	-	合計	-	1,394,856	1,053,810	597,740	434,486	21,584	258,102	76,184	25,406	156,512
1	1	1	新型コロナウイルス感染症拡大防止休業支援金（第1弾）	R2.4.22	102,000	51,632	51,632	0	0	0	0	0	0
2	1	2	ちくご市ががんばる家族支援事業（小中学生に地産米配付）	R2.4.22	10,000	9,000	9,000	0	0	0	0	0	0
3	1	3	中小企業向け融資枠の増資（1億円増資）	R2.4.22	100,000	250,000	0	250,000	0	0	0	0	0
4	2	1	新型コロナウイルス感染症拡大防止休業支援金（第2弾）	R2.5.12	62,000	104,510	104,510	0	0	0	0	0	0
5	2	2	デリバリー・テイクアウト支援	R2.5.12	2,200	2,199	2,199	0	0	0	0	0	0
6	2	3	ちくご市ががんばる家族支援事業（高校生等にお米券配付）	R2.5.12	4,341	4,331	4,331	0	0	0	0	0	0
7	2	4	家族de絵本プロジェクト	R2.5.12	13,500	11,970	11,970	0	0	0	0	0	0
8	2	5	筑後市奨学金給付事業補助金	R2.5.12	3,000	2,400	2,400	0	0	0	0	0	0
9	2	6	就学援助対象者への特別給付金	R2.5.12	11,215	11,130	11,130	0	0	0	0	0	0
10	2	7	内定取消者・失業者等の緊急雇用	R2.5.12	17,317	9,686	9,686	0	0	7,398	2,000	0	5,398
11	3	1	ひとり親家庭緊急応援金	R2.6.12	16,779	15,892	15,892	0	0	0	0	0	0
12	3	2	GIGAスクール1人1台パソコン整備（国庫補助活用）	R2.6.12	133,784	115,400	0	113,876	1,524	0	0	0	0
13	3	2	GIGAスクール1人1台パソコン整備（単独事業分）	R2.6.12	58,013	55,841	55,841	0	0	0	0	0	0
14	3	3	教育施設の衛生環境改善事業（全小中学校の給食調理室に空調設備を整備）	R2.6.12	77,440	46,763	46,763	0	0	0	0	0	0
15	3	4	防災備蓄整備事業	R2.6.12	6,360	4,733	4,733	0	0	0	0	0	0
16	3	5	感染症拡大防止事業（衛生資材等購入）	R2.6.12	2,917	2,916	2,916	0	0	0	0	0	0
17	4	1	高齢者見守り訪問事業	R2.7.10	5,572	4,814	4,814	0	0	0	0	0	0
18	4	2	避難所等感染防止対策事業	R2.7.10	17,975	15,968	15,968	0	0	0	0	0	0
19	4	3	小中学校保健事業（国庫補助活用）	R2.7.10	12,656	7,029	6,309	720	0	0	0	0	0
20	4	4	学校ICT環境整備事業（遠隔学習機能強化・GIGAスクールサポーター）	R2.7.10	3,976	2,987	1,499	1,488	0	0	0	0	0
21	4	5	プレミアム商品券発行補助金	R2.7.10	15,000	15,000	15,000	0	0	0	0	0	0
22	4	6	飲食店応援クーポン発行事業	R2.7.10	10,324	2,412	2,412	0	0	0	0	0	0
23	4	7	サザンクス筑後感染防止対策事業（国庫補助活用）	R2.7.10	29,952	24,116	12,343	11,396	377	0	0	0	0
24	4	8	臨時特別出産祝金	R2.7.10	22,639	17,775	17,775	0	0	0	0	0	0
25	4	9	就学援助拡大事業	R2.7.10	1,900	824	824	0	0	0	0	0	0
26	4	10	家賃軽減支援金給付事業（1/15）	R2.7.10	69,559	7,644	7,613	0	31	0	0	0	0
27	5	1	行政区活動感染症拡大防止対策事業	R2.8.7	11,230	9,724	9,724	0	0	0	0	0	0
28	5	2	Web会議環境整備事業	R2.8.7	4,162	4,162	4,162	0	0	0	0	0	0
29	5	3	スマホアプリ収納環境構築事業	R2.8.7	1,155	468	468	0	0	0	0	0	0

連番	対策 弾数	一 覧 番 号	対策事業名称	議決日	予算額	令和2年度				繰越事業			
						決算額	地方創生 臨時交付金	国補助金等 その他財源	一般財源	繰越予算額	地方創生 臨時交付金	国補助金等 その他財源	一般財源
30	5	4	障害福祉施設等従事者慰労金	R2.8.7	6,792	6,470	6,470	0	0	0	0	0	0
31	5	5	高齢者施設等従事者慰労金	R2.8.7	10,025	9,710	9,710	0	0	0	0	0	0
32	5	6	保育施設従事者慰労金	R2.8.7	4,054	4,050	4,050	0	0	0	0	0	0
33	5	7	保育施設感染症対策支援事業 (国県補助10/10)	R2.8.7	34,692	30,054	0	30,051	3	0	0	0	0
34	5	8	「新しい生活様式」移行支援事 業	R2.8.7	97,069	16,849	16,849	0	0	0	0	0	0
35	5	9	医療機関等従事者慰労金	R2.8.7	16,027	13,750	13,750	0	0	0	0	0	0
36	5	10	筑後市持続化給付金支給事業	R2.8.7	61,301	50,187	50,187	0	0	0	0	0	0
37	5	11	筑後市観光バス・タクシー・宿 泊事業者応援給付金	R2.8.7	4,525	4,410	4,410	0	0	0	0	0	0
38	5	12	救急車等への除染装置配備	R2.8.7	1,057	713	713	0	0	0	0	0	0
39	5	12	救急車等への除染装置配備 (繰越事業分)	R2.8.7	1,433	0	0	0	0	1,433	0	0	1,433
40	5	13	学習支援員等配置事業 (県補助10/10)	R2.8.7	11,983	7,632	0	7,455	177	0	0	0	0
41	5	14	小中学校再開支援事業 (国補助1/2)	R2.8.7	19,500	19,500	0	9,750	9,750	0	0	0	0
42	5	15	公共施設予約システム	R2.8.7	5,720	5,665	5,665	0	0	0	0	0	0
43	6	1	防災支援体制整備事業(対策 本部移設)	R2.9.25	4,550	3,986	3,986	0	0	0	0	0	0
44	6	2	筑後市家庭学習環境整備支援 事業	R2.9.25	2,000	10	10	0	0	0	0	0	0
45	7	1	プレミアム商品券発行補助金 【第2弾】	R2.12.11	8,500	0	0	0	0	8,500	4,000	0	4,500
46	7	2	小中学校再開支援事業【第2 弾】(国補助1/2)	R2.12.11	19,500	19,472	0	9,750	9,722	0	0	0	0
47	7	3	小中学校修学旅行キャンセル 料	R2.12.11	12,142	24	24	0	0	0	0	0	0
48	8	1	議会ICT化事業	R3.3.24	2,955	0	0	0	0	2,955	2,000	0	955
49	8	2	行政手続オンライン化(コンビニ 交付)事業	R3.3.24	10,680	0	0	0	0	10,680	5,000	0	5,680
50	8	4	介護認定審査会リモート環境整 備事業	R3.3.24	8,551	0	0	0	0	8,551	4,000	0	4,551
51	8	5	臨時特別出産祝金事業(継続)	R3.3.24	21,087	0	0	0	0	23,592	7,000	0	16,592
52	8	6	筑後市立病院交付金(新型コロナ 感染症対策分)	R3.3.24	30,000	30,000	30,000	0	0	0	0	0	0
53	8	7	「新しい生活様式」移行支援事 業【拡充版】	R3.3.24	0	0	0	0	0	33,922	10,000	0	23,922
54	8	8	新入生(小中学校)支援事業 ～花束プロジェクト～	R3.3.24	1,842	0	0	0	0	1,842	1,000	0	842
55	8	8	失業者支援給付金事業	R3.3.24	30,087	0	0	0	0	30,087	12,000	0	18,087
56	8	9	飲食店応援クーポン発行事業 【第2弾】	R3.3.24	0	0	0	0	0	7,324	2,000	0	5,324
57	8	10	筑後市指定管理者事業継続支 援金(10窓ぼたる・12サザンク ス)	R3.3.24	20,000	20,000	20,000	0	0	0	0	0	0
58	8	11.1	中学校特別教室への空調整備 事業(羽中)	R3.3.24	39,832	0	0	0	0	39,832	15,184	0	24,648
59	8	11.2	中学校特別教室への空調整備 事業(筑後中・筑後北中)(国補 助1/3)	R3.3.24	76,217	0	0	0	0	76,217	10,000	25,406	40,811
60	8	12	図書行政推進(電子図書、書籍 消毒機)	R3.3.24	5,769	0	0	0	0	5,769	2,000	0	3,769
-	-	-	合計(再掲)	-	1,394,856	1,053,810	597,740	434,486	21,584	258,102	76,184	25,406	156,512

このページは空白です。

第 1 弾

1 筑後市新型コロナウイルス感染拡大防止休業支援金(第1弾)

一覧の番号	記入担当課
1	商工観光課

第 1 弾

事業名 「 筑後市新型コロナウイルス感染拡大防止休業支援金(第1弾) 」

概	目的	○ 事業主への経済支援 ○ 店舗等での感染拡大防止
	対象者	○ 市内で開業する事業主 ○ 県の要請した事業所にかかわらず店舗、事務所等の常設施設において、対面で事業を行っているもの。 ※事業主の居住地は問わない
	内容	○ 4/23 から 5/6 まで休業した事業主に一律 10 万円を支給
	予算額	102,000 千円
	予算額の積算その他： 支援金 100 千円×1,000 件+事務委託料等 2,000 千円	
	要	決算額
決算額の内訳等		支援金 100 千円×509 件+事務委託料等 732 千円
経過・実績		○申請期間：4/27～5/18 消印有効 ○申請受付：商工会議所 ○交付決定・給付：市 ◎給付件数：509 件（申請 509 件） ※5/28 完了 ※残予算については、第2弾で補正計上した額とともに、第2弾の実施に活用
成果		○県の休業要請業種に限らず、全業種を対象にしたことから、全てではないが、支援金により 500 件程度の休業を実現し、人と人との接触を減らすことにつながった。
反省点等		○事前周知期間が 2 日程度と短かったため周知方法が限定された。 ○金額面で妥当であったかの判断は難しいが、少なくとも大きな店舗等にとっては少額すぎたのではないかと。 ○市内感染者数がこの時点では 3 人程度であったため、見込んでいた 1,000 件の約半分の実績にとどまった。

一覧の番号	記入担当課
2	農政課

第 1 弾

事業名 「ちくご市がんばる家族支援事業(小中学生に地産米配付)」

概	目的	○ 休校の長期化により児童生徒が家庭で食事をする機会が増加しており、筑後市産米（元気づくし 5 kg）を家庭に配布することで、家計負担の軽減を図る。
	対象者	○ 筑後市立小中学校に在籍している児童生徒。 ○ 市内在住で市外の国公立小中学校に通う児童生徒
	内容	○ 児童生徒 1 人につき 5 kg の米 1 袋を配布。
	予算額	10,000 千円
要	予算額の積算その他：	
	決算額	9,000 千円
	決算額の内訳等	2,000 円（米 5 kg）×4,500 名=9,000 千円
経過・実績	<p>○配布日：小学 1 年、中学 1 年 4 月 26 日（日）。 その他の学年 5 月 2 日（土）、3 日（日）。 市外学校在籍者 5 月 2 日（土）、3 日（日）。</p> <p>○配布場所：在籍小中学校、市外学校在籍者は市役所。</p> <p>○その他：上記日程で受け取りがなかった方は、5 月 7 日（木）8 日（金）で市役所にて配布。 8 日（金）以降は、学校教育課にて個別対応。</p> <p>○配布数：4,410 名中、4,345 名へ配布。 配布残の 155 袋は、介護保険事業所へ 69 袋、障害者入所施設へ 70 袋、社会福祉協議会フードバンクへ 16 袋を提供した。</p>	
成果	<p>○米の配布は、小中学校の休校により児童生徒が在宅しているなか、家計負担の軽減、児童生徒の食の確保に一定の効果があったと思われる。</p> <p>○対象者の 98.5%が受け取られたので、事業としては成果があったと思われる。</p>	
反省点等	<p>○突発的に実施した事業のため、準備期間もなく、JA による精米は徹夜、納品・配布は多くの市・学校職員（延べ約 400 名）の動員も要した。</p> <p>○予算は農政課、実働は学校教育課、指示をした関係課などが混在した事業となり、総括すべき部署が必要と思われた。</p> <p>○米の現物よりも後日配布のお米券の方が、費用対効果の側面からは有効だったのではと思われる。</p>	

一覧の番号	記入担当課
3	商工観光課

第 1 弾

事業名 「 中小企業向け融資枠の増資（1億円融資追加） 」

概要	目的	事業に必要な資金の融資を促進し、中小企業の安定と振興に資する。	
	対象者	○ 市内の中小企業	
	内容	○ 2億円を指定金融機関に預託することで融資制度の充実を図っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で全国的に融資の需要が高まり、筑後市においても2億円を超える融資の需要が高まると予想されたため1億円の預託を追加する。	
	予算額	300,000 千円	
	予算額の積算その他：	3億円（2億円+1億円 [追加]）	
	決算額	250,000 千円	
	決算額の内訳等	一般融資	225,865 千円
	（預託額）設備融資	0 千円	
	不況対策融資	24,135 千円	
	協同組合等融資	0 千円	
経過・実績	◎融資件数：142件（のうち、令和2年度 新規 22件）		
成果	○ 政府系金融機関である日本政策金融公庫の無利子無担保の融資が増大し、続いて開始された県融資制度の利用も増大していた。そのため、県融資予算に限りが出た場合、市の融資制度の活用が増えると予想され、予算を増やすことで事業者の資金繰りを切らさないための準備態勢として対応できた。ただし、結果として県の融資枠が大きかったため、市の融資制度の活用は増えることがなかった。		
反省点等	○新型コロナウイルスの影響で融資制度の利用が増えることは予想できたが、同様の国や県融資制度では無利子無担保の制度で設けられたため、市の融資制度は利用の優先度が低い状況であった。そのため、市の融資制度の活用は増えることがなかった。		

第 2 弾

一覧の番号	記入担当課
1	商工観光課

第 2 弾

事業名 「 筑後市新型コロナウイルス感染拡大防止休業支援金(第2弾) 」

概 要	目 的	○ 事業主への経済支援 ○ 店舗等での感染拡大防止
	対 象 者	○ 市内で開業する事業主 ○ 県の要請した事業所にかかわらず店舗、事務所等の常設施設において、対面で事業を行っているもの。 ※事業主の居住地は問わない
	内 容	○ 5/7 から 5/31 までのうち連続で 14 日以上を休業した事業主に一律 20 万円を支給
	予 算 額	62,000 千円
	決算額	104,510 千円
	決算額の内訳等	支援金 200 千円×600 件+事務委託料等 2,000 千円 ※第1弾の残予算(50,368 千円)を活用して実施
経過・実績	○申請期間：5/19～6/8 消印有効 ○申請受付：商工会議所 ○交付決定・給付：市 ◎給付件数：519 件（申請 519 件） ※6/18 完了 ※第1弾の残予算（50,368 千円）については、第2弾で補正計上した額とともに、第2弾の実施に活用	
成果	○事前周知期間が短かったという前回の反省を踏まえ、6日間の事前周知期間を設けた。また、第1弾に引き続き休業に協力している方が多く、金額を20万円に上げた効果なのか受付開始から3日間で220件と前回のペースを上回った。最終的には前回より10件多い519件となり、前回同様、人と人の接触を減らすことにつながったと思われる。	
反省点等	○5月4日に緊急事態宣言延長を受けたことで第2弾の調整に入り、短期間での準備となった。 ○第1弾申請済の人が引き続き第2弾でも申請する場合に、申請書類の一部省略など申請者の負担軽減も配慮すべきであった。	

一覧の番号	記入担当課
2	商工観光課

第 2 弾

事業名 「 デリバリー・テイクアウト支援 」

概要	目的	新型コロナウイルス感染拡大により外出自粛が求められ、市内飲食店は来客者が減少し、経営に深刻な影響が出ている。 売上が減少する飲食店の販売促進及び売上回復を図り、雇用の維持と事業継続のための事業支援を目的とする。
	対象者	市内で開業している飲食店で、本事業に賛同し、掲載等を希望する店舗
	内容	飲食店の支援のため、惣菜・弁当などテイクアウト・デリバリー等の需要に対応する飲食店総合情報サイト（ホームページ）を立ち上げ、併せてチラシを作成し新聞折込にて一般消費者に周知を図る。 令和2年5月にホームページを作成・公開。年度内に4回を目途にチラシ等作成し新聞折込等にて周知・広告
	予算額	2,200千円
	予算額の積算その他：	ホームページ作成1,200千円+チラシ等作成1,000千円
	決算額	2,199千円
	決算額の内訳等	ホームページ作成1,283千円+チラシ等作成916千円
経過・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○事業実施者：筑後商工会議所（協力：筑后市観光協会、筑后市） ○HP開設：令和2年5月13日（店舗情報及びメニュー等掲載） ○周知・広告(チラシ等作成)：4回 新聞折込3回：各11,580部 リーフレット配付1回：10,000部(参加店舗・協力団体に配付) ○交付決定・給付：市 ○掲載店舗数：当初24店舗 最終53店舗（令和3年3月末日） ※令和3年4月30日店舗情報公開終了。 	
成果	本事業では、ホームページ、新聞折込等にて参加飲食店の情報を発信し、外出・営業自粛と厳しい状況のなかでも消費者への飲食店の情報提供ができた。本情報の利用者は、人と人との接触を減らしての飲食の提供を受けることができた。また感染拡大防止対策状況を店舗情報に掲載したことにより店舗への誘客に繋げることができた。以上より、参加店舗の事業継続支援に寄与することができた。	
反省点等	新型コロナウイルス感染拡大の状況が変わるので、それに応じた掲載店舗情報の提供が難しく、チラシ作成時と発行時点での状況変化により情報に齟齬ができてしまった。	

一覧の番号	記入担当課
3	農政課

第 2 弾

事業名 「ちくご市がんばる家族支援事業(高校生等におこめ券配付)」

概	目的	○ 休校により生徒が家庭で食事をする機会が増加しており、おこめ券(5枚:米5kg相当)を高校生がいる家庭に配付することで、家計負担の軽減を図る。
	対象者	○ 市内に住民票がある高校生等、1,501名。(4月1日現在) ○ 平成14年4月2日から平成17年4月1日生まれの者。
	内容	○ 高校生1人につき、全国共通おこめ券(5kg相当)を配付。
	予算額	4,341千円
要	予算額の積算その他:	おこめ券:500円×5枚×1,510名分=3,775,000円 郵送料:簡易書留 404円×1,400世帯=565,600円
	決算額	4,331千円
	決算額の内訳等	おこめ券:500円×5枚×1,501名=3,752,500円 郵送料:簡易書留 404円×1,400名=565,600円 消耗品費:宛名シール等 12,848円
経過・実績	○ 予算議決日:令和2年5月12日(火)。 ○ 発注:令和2年5月12日(火)。 ○ 納品:令和2年5月20日(水)。 ○ 発送:令和2年5月22日(金)。 ○ 配布数:1,501名、うち2名が受け取り拒否。 ○ その他:受け取り拒否2名分のおこめ券で米(3kg)4袋を購入し、社会福祉協議会フードバンクへ寄付。	
成果	○ 議決後、10日で発送できたことは、特別定額給付金の振り込み以前となり、家計負担の軽減に貢献できたと思われる。 ○ 郵送料は発生するものの、短期間で届けることができたことは有効であったと思われる。	
反省点等	○ 小中学校生へ配布した米は筑后市産であったが、おこめ券は市内21店舗で使用できるものの、筑后市産米は販売されておらず、地元産であっても福岡県産米となり、地産地消の観点から単なる商品券という扱いと考えれば、農政課が主管課である必要があったのか課題は残る。 ○ おこめ券は市外の店舗でも使用可能であり、時間的余裕があり、経済効果を求めるのであれば、市内限定のプレミアム商品券のようなおこめ券の検討ができるのではないかと。	

一覧の番号	記入担当課
4	社会教育課

第 2 弾

事業名 「家族 de 絵本プロジェクト」

概	目的	○ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、家で過ごしている子どもたちに絵本を配付し、楽しい時間を家族で過ごしてもらう。	
	対象者	○ 令和2年5月1日現在で、筑後市に住民票を有する未就学児がいる世帯	
	内容	○ 未就学児のいる世帯に、赤ちゃんからから大人まで楽しめるワクワクドキドキする絵本セット（5冊）を配付	
	予算額	13,500 千円	
要	予算額の積算その他： 対象世帯 2,100 世帯×1,200 円～1,300 円程度×5 冊		
	決算額	11,970 千円	
	決算額の内訳等	需用費（絵本代・事務用品）	11,826 千円
		役務費（郵便料）	144 千円
経過・実績	配付日：5/23・24(配付場所：サザンクス筑後、サンコア) ※ 5/26・27の予備日は図書館で配付 配付世帯数 1854 世帯(配付率 89.1%)		
成果	「手紙が届いたとき嬉しくて、本をもらえる今日を楽しみに待っていました。」「どんな絵本を選んでよいかわからなかったので、司書が選んだ本をもらえて良かった」などの保護者の感想を得られ、配布したことで市民に読書の広がりを与えた。		
反省点等	短期間での絵本の手配だったために、約 2000 世帯分の絵本を確保するのに取次業者との連携が困難だった。(ゴールデンウィーク中の準備であり、新型コロナウイルス感染の影響もあり絵本到着に遅配もあった。)		

一覧の番号	記入担当課
5	学校教育課

第 2 弾

事業名 「筑後市奨学金給付事業」

概 要	目 的	○ 家庭の経済状況が厳しい高校生への経済支援
	対 象 者	○ 平成 29 年度から令和元年度の 3 年間の筑後市奨学会一般奨学生志願者のうち補欠の方
	内 容	○ 筑後市奨学会一般奨学生の平成 29 年度から令和元年度の 3 年間の志願者のうち、補欠の方へ奨学金を支給する。
	予 算 額	3,000 千円
	予算額の積算その他：	月額 10,000 円×12 月×25 人=3,000,000 円
	決 算 額	2,400 千円
	決算額の内訳等	支給済額： 月額 10,000 円×12 月×20 人=2,400,000 円
経過・実績	○申請期間： 5/19～6/12 ○申請受付： 学校教育課 ○交付決定・給付： 筑後市奨学会 ◎給付件数： 20 件（申請 20 件） ※6/19 給付完了	
成果	○一般奨学生が一学年 15 人と決められているため、補欠となった方に特別に奨学金を給付することで、家庭の経済状況が厳しいと思われる高校生を支援することができた。	
反省点等		

一覧の番号	記入担当課
6	学校教育課

第 2 弾

事業名 「 就学援助対象者への特別給付金 」

概	目 的	○ 経済支援策
	対 象 者	○ 就学援助の認定世帯
	内 容	○ 特別給付金として、小学生一人につき 15,000 円、中学生一人につき 25,000 円を支給
	予 算 額	11,215 千円
	予算額の積算その他： 小学校 15,000 円×406 人=6,090,000 円 中学校 25,000 円×205 人=5,125,000 円	
要	決 算 額	11,130 千円
	決算額 の内訳 小学校 15,000 円×417 人=6,255,000 円 等 中学校 25,000 円×195 人=4,875,000 円	
経過・実績		○申請期間： R2.4.1～R3.3.31 ○申請受付： 学校教育課 ○交付決定・給付： 市 ◎給付件数： 小学校 417 人（294 世帯） 中学校 195 人（168 世帯）
成果		○就学援助対象世帯では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響より平常時よりも経済的に厳しい状況が続いていることが予想され、就学援助対象者へ特別給付金の支給を行い経済的な支援ができた。
反省点等		

一覧の番号	記入担当課
7	市長公室

第 2 弾

事業名 「 内定取消者・失業者等の緊急雇用 」

概 要	目的	○ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、内定取消しや失業等により職を失った市民等を対象に、緊急的に会計年度任用職員として雇用することで、生活の安定を図るもの。
	対象者	○ 感染拡大の影響により解雇・内定取り消しされた労働者や事業継続できなくなった個人事業主やフリーランス等
	内容	○ 補助的パートタイム会計年度任用職員（事務補助）として雇用する。
	予算額	17,317 千円
	予算額の積算その他：	補助的パートタイム会計年度任用職員 10 月×10 人分 報酬：13,281 千円 期末手当：976 千円 費用弁償：530 千円 共済費：2,530 千円 計 17,317 千円
	決算額	9,686 千円
決算額の内訳等	報酬：7,559,897 円 期末手当：470,806 円 費用弁償：239,182 円 共済費：1,415,807 円 計 9,685,692 円	
経過・実績	○R3.3.31 現在：申込者数 20 人中、任用実績 11 人 （その他内訳：辞退 2 人、一般登録枠へ 6 人、面接調整中 1 人） ・ 辞退理由：他の就職先が見つかった 1 件、条件が合わない 1 件 ・ 本事業の趣旨に合致しない申込分は、一般枠での登録とした。	
成果	○失業等の影響により収入が著しく減少した労働者等が、一時的とはいえ、就労することによって必要な収入を得て、生活の安定を図ることができた。	
反省点等	○任用期間満了時点で、当市以外に再就職先等が決まっている人は、把握している限りでは 11 人中 2 人とどまった。雇用環境が改善していないことが要因か。なお、 ・ R3.4.1 以降、当市の一般登録枠で再度の任用をした人は 11 人中 2 人。 ・ 面接調整中だった 1 人は、令和 3 年度に任用した。 ○残予算を令和 3 年度に繰り越し、事業を継続することとした。雇用情勢は先行き不透明であり、失業者等のニーズが増加する可能性もある。補正予算による増額が必要になる場合もあり得る。	

第 3 弹

一覧の番号	記入担当課
1	子育て支援課

第 3 弾

事業名 「ひとり親家庭緊急応援金」

概	目的	○ 低所得のひとり親世帯への経済支援
	対象者	○ 令和2年7月期(5月分又は6月分)の児童扶養手当受給者
	内容	○ 支給対象児童1人につき2万円を支給
	予算額	16,779千円
	予算額の積算その他： 給付金20千円×820人+事務費	
	決算額	15,892千円
	要	決算額の内訳等
経過・実績		○6/12 対象者へ支給通知を送付 ○7/10 支給(振込) ◎支給件数：502件 ※8月末完了
成果	○事業所の営業自粛による収入減、学校の臨時休業の影響による支出増で特に苦しい生活状況にあるひとり親世帯の方たちの生活の安定、安心につながった。	
反省点等		

一覧の番号	記入担当課
2	教育総務課

第 3 弾

事業名 「 GIGA スクール 1 人 1 台 パソコン 整備 」

概	目的	○ 児童生徒に対し 1 人 1 台のタブレット端末を整備する ○ 小学校の校内無線 LAN の環境を整備する (羽犬塚小・古川小・水田小・いずみ分校・下妻小・古島小)
	対象者	○ 筑後市内の全小中学校 (ネットワークは小学校のみ)
	内容	○ タブレット端末の整備 ○ 小学校の校内無線 LAN 整備
	予算額	191,797 千円
	予算額の積算その他： 端末購入 174,147 千円 工事費 17,650 千円	
	決算額	171,241 千円
	要	決算額の内訳等 端末購入 (Chromebook) 38,500 円×3,992 台 153,692 千円 ■単独事業分 44,892 千円 ■補助事業分 108,800 千円 (国 補助率 1/1) 工事費計 17,549 千円 (無線 LAN 整備) ■単独事業分 10,949 千円 ■補助事業分 6,600 千円 (羽犬塚小学校のみ、国補助率 1/2 3,299 千円)
経過・実績	端末購入 (3,870 台, 122 台の 2 度に分けて調達) ○契約日：R2.8.3、R3.3.15 ○検収日：R3.3.15、R3.3.31 ○端末導入台数：3,922 台 無線 LAN 整備 ○契約日：R2.8.5 ○履行確認日：R3.3.15	
成果	○既存で導入している Windows タブレットと含め、児童生徒 1 人 1 台の環境を整備した。 ○市内全小中学校において授業に要する屋内無線 LAN の環境整備を完了した。	
反省点等	○端末について県の共同調達を見込んでいたが、独自調達へ途中で切り替えることとなったこと及びネットワーク工事との調整により納品が遅れた。 ○既存ネットワークとの調整に際し、設定内容が不明な個所が多く、構築内容に変更が生じるなど、当初の予定よりも遅れることとなった。	

一覧の番号	記入担当課
3	教育総務課

第 3 弾

事業名 「 教育施設の衛生環境改善事業 」

概	目的	○ 学校給食調理場の温度・湿度管理機能及び換気機能の向上
	対象者	○市内全小中学校
	内容	○給食室への空調設備設置
	予算額	77,440 千円
	予算額の積算その他： 設計委託料：7,040 千円、工事請負費：70,400 千円	
要	決算額	46,763 千円
	決算額の内訳等	設計委託料：0 円、工事請負費：46,763 千円
経過・実績	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による学校休校により、夏季休業期間短縮され、夏季の給食実施日が増え、給食室の温度及び湿度管理等の環境改善が必要となった。これに伴い、新型コロナウイルス感染症対策及び熱中症対策として、空調設備を設置することで、調理場の換気の改善と温度湿度管理機能を強化を図った。	
成果	小中学校の給食室に空調設備を設置することで、調理場の換気の改善と温度湿度管理機能が強化され、食品の安全管理や調理従事者の健康管理の面でも改善が図れ、安全・安心な給食を提供することができた。	
反省点等	緊急で着工した事業であったため、十分な設計が行えず、受電設備等の改良が充分でなく、利用において影響を及ぼした。	

一覧の番号	記入担当課
4	防災安全課

第 3 弾

事業名 「 防災備蓄整備事業 」

概	目的	○ 避難所での感染拡大防止
	対象者	○ 市民
	内容	○ 避難所での感染症予防のための資機材購入
	予算額	6,360 千円
	予算額の積算その他：	
要	決算額	4,733 千円
	決算額の内訳	サージカルマスク (3 万枚) 726 千円、段ボール間仕切り (140 基) 176 千円、段ボールベッド (70 台) 308 千円、ワンタッチ間仕切り (100 基) 2,695 千円、飛沫感染防止ゴーグル (70 個) 92 千円、アルミマット (890 枚) 736 千円
経過・実績	○下記の感染症予防用資機材を購入し備蓄。 マスク 3 万枚、段ボール間仕切り 140 基、段ボールベッド 70 台、ワンタッチ間仕切り 100 基、飛沫感染防止ゴーグル 70 個、アルミマット 890 枚	
成果	○避難所に間仕切り、段ボールベッド等の感染症予防用資機材を設置し、避難者間で一定の距離を確保することで感染症予防を図ることができた。	
反省点等	○間仕切り設置により避難所の収容人数が減少するため、避難所の混雑状況を周知し混雑緩和を図る必要がある。 ○避難所への資機材運搬や設置について時間を要したため、速やかに設営できるよう避難所への物置設置や人員配置の見直しについて検討する必要がある。	

一覧の番号	記入担当課
5	健康づくり課

第 3 弾

事業名 「 感染症拡大防止事業（衛生資材等購入） 」

概要	目的	○ 新型コロナウイルス感染拡大防止のための物品購入
	対象者	
	内容	○ 今後の感染拡大に備えるため、備蓄量が減少してきたマスクや消毒液等を購入するもの。
	予算額	2,917 千円
	予算額の積算その他：	消耗品費（マスク等）1,988 千円 医薬材料費（エタノール）929 千円
	決算額	2,916 千円
	決算額の内訳等	消耗品費（マスク等）1,535 千円 医薬材料費（エタノール等）1,114 千円 備品購入費（非接触式体表温度検知器等）267 千円
経過・実績		
成果	○ マスクや消毒液等を補充し、今後の感染拡大へ備えることができた。	
反省点等		

第4弾

一覧の番号	記入担当課
1	高齢者支援課

第 4 弾

事業名 「 高齢者見守り訪問事業 」

概	目的	○ 新型コロナウイルス感染症予防及び熱中症予防の啓発 ○ 高齢者のみの世帯の見守り活動
	対象者	○ 在宅の75歳以上のみの世帯
要	内容	○ 民生委員が対象世帯を訪問し、新型コロナ感染予防及び熱中症予防の啓発チラシと啓発グッズを配布する。
	予算額	5,572 千円
	予算額の積算その他：	需用費（啓発グッズ等消耗品）3,712 千円＋民生委員児童委員協議会委託料 1,860 千円
	決算額	4,814 千円
	決算額の内訳等	需用費（啓発グッズ等消耗品）2,954 千円＋民生委員児童委員協議会委託料 1,860 千円
経過・実績	<p>○委託先：筑後市民生委員児童委員協議会 ○契約期間：令和2年7月22日～9月5日 ○8月1日 民生委員会定例会にて対象世帯名簿、チラシ、グッズを各民生委員に配付 8月中 民生委員による対象世帯訪問 9月5日 民生委員会定例会にて名簿及び不在者分のグッズ等を市に返却 ◎最終配布件数：1,884 世帯（2,577 人）</p>	
成果	<p>○新型コロナウイルス感染症拡大以降、訪問活動ができていなかった民生委員の訪問活動再開のきっかけづくりとなった。 ○新しい生活様式と熱中症予防の啓発が進み、高齢者の意識が高まった。 ○啓発グッズ（イオンウォーター）を受け取った高齢者は大変喜ばれ、追加で購入したいという声も聞かれた。</p>	
反省点等	<p>○「あの人はもらっているのに自分はもらっていない。」など、配布の対象外の高齢者からの問い合わせが数件あった。</p>	

一覧の番号	記入担当課
2	防災安全課

第 4 弾

事業名 「 避難所等感染防止対策事業 」

概	目的	○ 避難所での感染拡大防止
	対象者	○ 市民
	内容	○ 避難所での感染症予防のための資機材購入 ○ 各避難所でのコロナ対策資機材収納倉庫の設置
	予算額	17,975 千円
	予算額の積算その他：	
	決算額	15,968 千円
要	決算額の内訳等	ワンタッチ間仕切り (100 張) 2,475 千円、簡易ベッド (200 台) 3,377 千円、アルミマット (1,000 枚) 814 千円、非接触式体温計 (25 本) 193 千円、脇下計測体温計 (21 本) 62 千円、消毒液 (500ml・44 本) 107 千円、簡易クーラー (22 台) 2,420 千円、大型扇風機 (22 台) 375 千円、空気清浄器 (18 台) 2,376 千円、資機材収納物置関連経費 (11 台) 3,390 千円、その他 379 千円
経過・実績	<p>○下記の感染症予防用資機材を購入し備蓄 ワンタッチ間仕切り 100 張、簡易ベッド 200 台、アルミマット 1,000 枚、非接触式体温計 25 本、脇下計測体温計 21 本、消毒液 (500ml) 44 本、簡易クーラー22 台、大型扇風機 22 台、空気清浄器 18 台</p> <p>○避難所 9 か所に資機材収納物置 11 台を設置</p>	
成果	<p>○避難所開設時に間仕切り、簡易ベッド等の感染症予防用資機材を設置し、避難者間で一定の距離を確保することで感染症予防を図ることができた。</p> <p>○避難所に資機材収納物置を設置したことにより、速やかに避難所を設営することができる。</p>	
反省点等	<p>○間仕切り設置により避難所の収容人数が減少するため、避難所の混雑状況を周知し混雑緩和を図る必要がある。</p> <p>○避難所への資機材設置に時間を要したため、速やかに設営できるよう避難所の人員配置を見直す必要がある。</p>	

一覧の番号	記入担当課
3	学校教育課

第 4 弾

事業名 「 小中学校保健事業 」

概	目的	○ 新型コロナウイルス感染症対策
	対象者	○ 市内小中学校
	内容	○ マスク等の保健衛生用品を配布
	予算額	12,656 千円
	予算額の積算その他： 小学校分 10,569 千円、中学校分 2,087 千円	
	決算額	7,029 千円
要	決算額	■単独事業分 5,580,552 円 ■補助事業分 1,448,349 円 等 (うち国庫補助：マスク等購入支援事業補助金額 720,000 円)
経過・実績	◎給付件数：件 市内小学校 11 校 市内中学校 3 校 ○給付物品 消毒用エタノール、フェイスシールド、施設用消毒液、夏用マスク、フェイスシールド、不織布マスク、日傘を給付”	
成果	○マスク等の保健衛生用品の配布を行い、新型コロナウイルス感染症対策を確実に実施することで、学校で安心して教育活動を行うことができた。	
反省点等	○消毒液などは市場に商品が品薄の状態であったため物品の手配に時間がかかった。	

一覧の番号	記入担当課
4	教育総務課

第 4 弾

事業名 「 学校 ICT 環境整備事業 」

概 要	目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校からの遠隔学習機能の強化のため、Web 会議等で用いられる備品を整備する ○ GIGA スクール構想の整備を進めるため、サポーターを2名雇用する 		
	対象者	○ 全小中学校		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ Web 会議用のデバイスであるスピーカーフォン、ヘッドセット、Web カメラのほか、デジタルビデオカメラを Web カメラとして用いるための HDMI キャプチャボードを整備 ○ GIGA スクールサポーター（専務的パートタイム会計年度任用職員）を2名任用 		
	予算額	3,976 千円		
	予算額の積算その他：	遠隔学習機能強化	954 千円	
		GIGA スクールサポーター配置	3,022 千円	
	決算額	2,987 千円		
決算額の内訳等	遠隔学習機能強化	471 千円（補助率 1/2	235 千円）	
	GIGA スクールサポーター配置	2,516 千円（補助率 1/2	1,253 千円）	
経過・実績	遠隔学習機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ○ 契約日 R2. 9. 23、R3. 3. 3 ○ 検収日 R2. 10. 20、R3. 3. 16 GIGA スクールサポーター配置 <ul style="list-style-type: none"> ○ 任用期間 R2. 10. 1-R3. 3. 31 			
成果	遠隔学習機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業支援ソフトやビデオ会議ソフトによる遠隔授業の環境を構築した。 GIGA スクールサポーター配置 <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校における環境整備と共に、教職員に対するトレーニング・サポートを従来よりも円滑に行えるようになった。 			
反省点等	<ul style="list-style-type: none"> ○ Web カメラを用いての撮影では、教室内での移動及び黒板の撮影時における板書内容の鮮明化に難ありと判明、結果として3月にキャプチャボードを追加購入することとなった。 ○ 従来から配置している学校コンピュータ運用支援員と今回配置した GIGA スクールサポーターとの整理が必要である。 			

一覧の番号	記入担当課
5	商工観光課

第 4 弾

事業名 「 プレミアム商品券発行事業補助金 」

概	目 的	○ 市内の中小小売店等の販売促進及び商店街の活性化 ○ 市内の消費喚起
	対 象 者	○ 市民 ○ 市内の筑後商工会議所会員事業所
	内 容	○ 発行総額 360,000 千円（プレミアム分 20%）分のプレミアム付き商品券を発行し、プレミアム分 60,000 千円うち、25,000 千円を補助金として交付する。
	予 算 額	15,000 千円
	予算額の積算その他： 補助金 25,000 千円のうち、10,000 千円は当初予算計上済	
要	決 算 額	15,000 千円
	決算額 の内訳 等	補助金 24,930,028 円 (当初予算分 9,930,028 千円+補正分 15,000,000 円) ※上記決算額は地方創生臨時交付金対象額に係るもの
	経過・実績	○予約期間：R2.8.1～8.17 消印有効 ○引換期間：R2.9.1～9.11 ○対面販売：R2.9.23 ○有効期間：R2.9.1～R3.1.20 ○登録店数：304 事業所 ※9月23日の対面販売で完売。
成果	○アンケートの結果より、購入者の40%がプレミアム商品券があることで地元で購入する、56%が普段の買い物より消費が増えると回答している。登録店の40%がプレミアム商品券発行前より40%売上が増加したと回答しており、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で売上減少していた、地域への消費喚起が行われた。	
反省点等	○購入者からの商品券に対する要望として、今後も頻繁に発行を希望する、使用できる店舗を増やしてほしい、使用できる期間を延ばしてほしいとの声がある。	

一覧の番号	記入担当課
6	商工観光課

第 4 弾

事業名 「 飲食店応援クーポン発行事業 」

概要	目的	○ 市内の飲食店の事業継続支援 ○ 市内産業の維持 ○ 市内の消費拡大の促進
	対象者	○ 市民 ○ 市内の飲食店 参加希望店舗
	内容	○ 1店舗あたり 500 円のクーポン券を 100 枚配布し、参加店舗利用者に 2,000 円商品購入ごとに 1 枚 (500 円) 配布し、1,000 円購入ごとに 1 枚 (500 円) を利用できる。発行総額 (500 円 × 100 枚 × 200 店舗) 10,000 千円のクーポン券を発行し、回収分を各店舗に補助金として交付する。
	予算額	10,324 千円
	予算額の積算その他： 補助金 10,000 千円、委託料 300 千円、郵便料・手数料 24 千円	
	決算額	2,412 千円
	決算額の内訳等	補助金 2,114 千円 (500 円 × 4,228 枚) 委託料 298 千円
経過・実績	○ 申込期間：R2. 7. 10～7. 21 消印有効 ○ 参加店舗：66 店舗 (申込は 68 店舗、うち 2 店舗は申請後辞退) ○ 利用期間：R2. 8. 1～9. 30 ○ 換金期間：R2. 10. 1～10. 15 ○ 実績報告：配布枚数 6,280 枚 回収枚数 4,228 枚 換金金額 2,114 千円 (500 円 × 4,228 枚)	
成果	○ 店舗への聞き取りでは、おおむね好評であった。参加店のうち 53% が 8 月中に配布を終了し、91% の店舗で 9 月末までに配布が終了していた。クーポンを配布することでリピート率が上がるなど、消費拡大の促進もできたといえる。 ○ 多くの店舗から、またやってほしいとの声もあがっており、事業者の事業継続支援にもつながっている。	
反省点等	○ 店舗によっては、配布初日で終了してしまうケースもあり、利用者からすでになかった、枚数は制限があるのかなどの問合せが複数あった。チラシやポスターにも配布枚数に限りがあるなど、記載をする必要があった。 ○ 各店舗の配布枚数については、最後まで配布が終わらない店舗もあったので、配布枚数を増加する、店舗毎に配布枚数を選ぶ方法も検討したい。	

一覧の番号	記入担当課
7	社会教育課

第 4 弾

事業名 「サザンクス筑後感染防止対策事業（国庫補助活用）」

概	目的	○ サザンクス筑後での感染拡大防止対策
	対象者	○ サザンクス筑後の利用者及び施設
	内容	○ 感染防止事業（空気清浄機・サーマルカメラの購入） ○ 空調設備改修事業
	予算額	29,952 千円
	予算額の積算その他： 国庫補助金 11,958 千円＋臨時交付金 17,994 千円	
要	決算額	24,116 千円
	決算額の内訳等	補助金 11,396 千円＋臨時交付金 12,720 千円
経過・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年6月17日 補助金交付要望 ○令和2年7月3日 補助金内定（内定額 11,958 千円） ○令和2年7月15日 補助金交付申請 ○令和2年8月12日 補助金交付決定通知 ○令和3年1月12日 計画変更承認申請 ○令和3年2月1日 補助金交付決定変更通知 ○令和3年3月31日 実績報告 <p>AIサーマルカメラ6台（ドーム型4台・ハンディ型2台）、空気清浄機19台（20畳～40畳用）、空調設備改修工事</p>	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○感染拡大を未然に防ぐ水際対策（空気清浄機及びサーマルカメラの設置）により、利用者の安全を確保することができた。 ○ホール、研修室等の空調設備改修により、施設の利用再開に向けて大きく貢献することができた。 	
反省点等		

一覧の番号	記入担当課
8	子育て支援課

第 4 弾

事業名 「 臨時特別出産祝金 」

概要	目的	○ 次代を担う子どもの出産を祝福 ○ 子育て世帯が安心して育児に取り組めるよう支援
	対象者	○ 令和2年4月28日から令和3年4月1日までの間に生まれた子どもを出産した母 ※出産した日から当該祝金の申請日まで継続して本市の住民基本台帳に記録されている者
	内容	○ 対象の子ども1人につき5万円を支給
	予算額	22,639千円
	予算額の積算その他： 祝金50千円×450件+事務費（郵便料、振込手数料等）139千円	
	決算額	17,775千円
	決算額の内訳等 祝金50千円×354件+事務費（郵便料、振込手数料）75千円	
経過・実績	○市（子育て支援課）にて随時受付 ○支給決定・給付：市 ◎支給件数：354件（申請354件） ※最終受付日：3/31、最終支給日4/9完了 ※残予算の一部を、第8弾で補正計上した額とともに令和3年度の実施に活用	
成果	○子育て世帯への経済的な支援により、コロナ禍での育児不安を払拭するための一助となった。	
反省点等	○10万円の定額給付金に金額面をあわせて欲しかったとの声があった（少数）。	

一覧の番号	記入担当課
9	学校教育課

第 4 弾

事業名 「 就学援助拡大事業 」

概 要	目 的	○ 経済支援策
	対 象 者	○ 就学援助の認定世帯（新型コロナウイルス感染症の影響等により収入が減少した世帯）
	内 容	○ 通常は前年度の収入で判断を行うところを、現年度の収入見込みにより就学援助の判定を行い、認定世帯に就学援助を給付する。
	予 算 額	1,900 千円
	予算額の積算その他：	小学校 80,000 円×10 人=800,000 円 中学校 110,000 円×10 人=1,100,000 円
	決 算 額	824 千円
	決算額 の内訳 等	■単独事業分 小学校 301,154 円、中学校 522,694 円
経過・実績	◎給付件数： 小学校 4 人（4 世帯） 中学校 5 人（4 世帯）	
成果	○新型コロナウイルス感染症の影響等により収入が減少した方について今年の収入・所得金額の見込みで認定審査を行い、4 月に遡及して就学援助支給を行い経済的な支援ができた。	
反省点等	○新型コロナウイルス感染症の影響等により収入が減少した方に対し事務的な負担をなるべく軽減し、迅速に申請ができるようにするため提出書類の簡素化の検討が必要である。	

一覧の番号	記入担当課
10	商工観光課

第 4 弾

事業名 「 筑後市新型コロナウイルス感染症対策家賃応援給付金 」

概要	目的	○ 事業主への事業継続支援
	対象者	○ 国の家賃支援給付金の給付を受けた事業主。 ○ 市内で開業する事業主。 ※事業主の居住地は問わない
	内容	○ 国の家賃支援給付金の給付を受けた事業主へ家賃（6ヶ月分）の1/15を支給するもの。 【法人】 市内に本店・本社あり…全物件対象（物件所在地は問わない） 市内に本店・本社はないが事業所あり…市内物件のみ対象 【個人】 市内居住者…全物件対象（物件所在地は問わない） 市内に居住していないが事業所あり…市内物件のみ対象
	予算額	69,559 千円
	予算額の積算その他： 令和3年3月議会において減額補正、最終現計予算は9,957千円	
	決算額	7,644 千円
	決算額の内訳等	支援金 7,613 千円 + 郵便料等 31 千円
経過・実績	○申請期間：8/24～3/31 消印有効 ○申請受付：市 ○交付決定・給付：市 ◎給付件数：169 件（申請 169 件） ※4/15 完了	
成果	○国の交付決定に時間がかかったため、しばらくは申請件数が伸び悩んだが、国の交付決定がおり始めてからは、後半にかけて伸びてきた。実績としては想定件数 1,184 件を大きく下回ったが、家賃で困窮している 169 件の事業主を事業継続できたと思われる。	
反省点等	○本制度について広報やチラシで告知しているものの、事業者の中には、国と県へ申請しているが、市の制度を知らず市へ申請していない事業者が多数あった。 ※県に申請している事業者については、県から情報提供があったため、市に申請していない事業者へ電話で告知を行った。	

このページは空白です。

第 5 弹

行政区活動感染症拡大防止対策事業 行政区補助実績

番号	行政区名	補助実績額	番号	行政区名	補助実績額
1	二本松	111,805	39	野町	170,000
2	山ノ井東	149,760	40	常用東	160,000
3	山ノ井中	0	41	尾島	160,000
4	長浜	180,000	42	船小屋	91,718
5	和泉東	139,786	43	志	150,000
6	停車場	141,790	44	津島東	150,000
7	藤島	151,618	45	津島西	150,000
8	秋松	135,000	46	常用	149,896
9	徳久	164,955	47	下妻	149,391
10	羽犬塚	159,491	48	富安	130,000
11	上町	153,197	49	馬間田南	91,241
12	上原々南	170,000	50	馬間田北	82,220
13	上原々北	180,000	51	中牟田	130,000
14	和泉西	157,188	52	中折地	129,916
15	和泉中	149,792	53	折地	109,824
16	前津	180,000	54	折地作出	9,350
17	赤坂	176,284	55	古島	135,000
18	欠塚	159,280	56	井上	135,000
19	一条	170,000	57	井田上	134,821
20	西原西	0	58	井田下	135,000
21	西原東	132,220	59	島田	134,400
22	大和	114,896	60	上富久	110,644
23	蔵数	156,100	61	下富久	140,300
24	熊野	178,750	62	四ヶ所	130,000
25	久富	180,000	63	江口	16,057
26	久富東	47,260	64	万才	0
27	桑鶴	117,180	65	高江	150,000
28	溝口町	117,520	66	富重	8,464
29	溝口南	106,400	67	若菜	160,000
30	北長田	135,000	68	長崎	99,000
31	久恵	150,000	69	庄島	0
32	鶴田	162,506	70	野中	149,630
33	新溝	133,554	71	北牟田	150,000
34	水田上	107,908	72	鷲寺	150,000
35	水田中	133,914	73	寛元寺	150,000
36	水田下	67,990	74	久保	150,000
37	下北島	169,916	75	西牟田町	140,501
38	上北島	160,000	76	流	130,997

実績総計 72 行政区 9,724,430 円

一覧の番号	記入担当課
2	総務広報課

第 5 弾

事業名 「 Web 会議環境整備事業 」

概	目的	○ 職員の感染防止
	対象者	○ 市役所（職員）
	内容	○ 職員がインターネットを利用して、関係機関との会議や研修に参加できる環境を整備するもの
	予算額	4,162 千円
	予算額の積算その他：	・インターネット接続回線費用：145 千円 ・ネットワーク設定変更業務委託費：3,630 千円 ・インターネット接続回線開設費用：57 千円 ・カメラ付き PC 等機器購入費：330 千円
要	決算額	4,162 千円
	決算額の内訳等	・インターネット接続回線費用：114 千円 ・ネットワーク設定変更等業務委託費（現行ネットワーク機器設置及び設定変更）：3,025 千円 ・インターネット接続回線開設費用：418 千円 ・カメラ付き PC 等機器購入費：605 千円
経過・実績	○Web 会議機器（会議等への参加及び会議開催対応） ・PC：4 台、スピーカー：3 台、大型ディスプレイ：3 台、 ○Web 会議の参加、実施状況：[参加] 344 件、[開催] 14 件	
成果	○職員が会議会場へ出向く必要がなくなったことで、感染リスクが軽減されるほか、移動時間、費用の削減も図ることができた。 ○開催地を問わず、従来は参加不可能であった遠方での会議や研修にも参加が可能となり、情報収集の場やコミュニケーションの範囲が広がった。	
反省点等	○導入当初は、無償アカウントによる制約があり、Web 会議主催への対応が遅れた。このため、3 月に有償アカウントを 5 ライセンス取得。その後、地域包括支援センター、都市対策課等で計 14 回の会議主催に至っている（4 月末現在）。 ○コロナにおける執務室分離への対策と重なり、庁内における Web 会議のための会議室が不足する状況が生じた。このため、サンコア内各室（7 箇所）へのネットワーク増設工事を実施（3 月 28 日竣工）。	

このページは空白です。

一覧の番号	記入担当課
3	税務課

第 5 弾

事業名 「 スマホアプリ収納環境構築事業 」

概	目的	○24時間納付可能 ○対面による感染拡大防止
	対象者	納税義務者、納付義務者
	内容	納付書記載のバーコードをスマホアプリで読み取るだけで納付が可能。ただし、チャージ残高による。対応アプリは「PayPay」と「LINE Pay」。
	予算額	1,155千円
	予算額の積算その他： 基幹システム改修 800千円+滞納管理システム 250千円+消費税	
	決算額	468千円
要	決算額の内訳等	基幹システム改修費用 425千円+消費税 ●スマホアプリ収納分の機能を追加 ・収納消込処理におけるスマホアプリ収納分の納付区分を追加 ・スマホアプリにより納付した軽自動車税の納税証明書の新規作成 ・スマホアプリ収納分の帳票出力のための改修 等。
経過・実績	令和3年度からの運用開始により実績はR3.4月分の1ヶ月分で検証。 ●R3固定資産税現年度調定額に対する第1期分（4月納期分）の収納状況 ・調定額：3,202,525,600円（76,123件）、収納額：310,668,800円（収納率9.70%） 【うちコンビニ収納：40,225,700円（収納率1.26%）】 52,808,700円 【うちスマホアプリ収納：12,583,000円（収納率0.39%）】（収納率1.65%） ・収納額：310,668,800円（10,478件）に対する納付方法の割合 【うちコンビニ収納：40,225,700円（12.95%）、2,918件（27.85%）】 3,542件 【うちスマホアプリ収納：12,583,000円（4.05%）、624件（5.96%）】（33.80%） R3.4月収納件数（過年度分含む） ●固定資産税 ※4月納期 収納件数合計 10,634件 うちコンビニ収納 2,920件、 <u>スマホアプリ収納 625件</u> ●市県民税（普徴） 収納件数合計 256件 うちコンビニ収納 21件、 <u>スマホアプリ収納 1件</u> ●軽自動車税 収納件数合計 27件 うちコンビニ収納 0件、 <u>スマホアプリ収納 0件</u> ●国民健康保険税（普徴） 収納件数合計 525件 うちコンビニ収納 14件、 <u>スマホアプリ収納 1件</u> ●後期高齢者医療保険料（普徴） 収納件数合計 1,027件 うちコンビニ収納 70件、 <u>スマホアプリ収納 1件</u> ●介護保険料（普徴） 収納件数合計 869件 うちコンビニ収納 207件、 <u>スマホアプリ収納 1件</u> ●住宅使用料 ※4月納付月 収納件数合計 433件 うちコンビニ収納 90件、 <u>スマホアプリ収納 1件</u> ●保育料 ※4月納付月 収納件数合計 367件 うちコンビニ収納 139件、 <u>スマホアプリ収納 21件</u> ●上下水道料金 ※4月納付月 収納件数合計 14,147件 うちコンビニ収納 1,442件、 <u>スマホアプリ収納 35件</u> *R3年度納税通知書発送の際にスマホアプリ収納の案内チラシを同封することで周知を行った。	

<p>成果</p>	<p>固定資産税第1期分の収納額に対する納付方法を見ると、スマホアプリによる納付件数は624件で割合は5.96%となっている。これは筑後市と同規模の先行導入市の実績（初年度利用率0.03%）を参考に見込んでいた、市税全体でのR3年度利用件数の100件を4月時点で既に大きく上回った結果となっている。スマホアプリによる納付は、現在、アプリ業者のポイントが付与されており、今後は他税料も含めてスマホアプリによる納付は増加するものと見込まれる。このため、非接触型納付方法による感染拡大防止につながり、併せて納期内納付が期待できる。</p>
<p>反省点等</p>	<p>市としては経済性、効率性、効果を総合的に判断すると、あくまで口座振替を推進している。今回のスマホアプリ納付開始の影響は主に2点。①スマホアプリ納付のため口座振替を取り消すケースが発生（納付書が必要なため）。②これまで金融機関や市窓口で納付してきた納税義務者がスマホアプリで納付。</p> <p>このことは、コロナ感染拡大防止、キャッシュレス等の効果がある反面、収納事務手数料の増加の要因になる。今後、あらためて口座振替推進を行う必要がある。</p> <p>（コンビニ・スマホアプリ手数料1件57円、口座振込手数料1件10円、郵便振替手数料1件30円）</p>

一覧の番号	記入担当課
4	福祉課

第 5 弾

事業名 「 障害者福祉施設等従事者慰労金 」

概 要	目 的	○ 障害者施設及び相談支援事業所の従事者への慰労金
	対 象 者	○ 市内の障害者施設及び相談支援事業所の従事者 ○ 慰労金の支給は、事業所及び施設単位
	内 容	○ 入所施設は、定員 15 人以下の場合 10 万円、16 人以上 30 人以下の場合 20 万円、31 人以上の場合 30 万円を支給。 ○ その他の事業所は、1 事業所につき 10 万円を支給。 ○ 計画相談支援に従事する相談支援専門員には、1 人につき 1 万円を支給。
	予 算 額	6,792 千円
	予算額の積算その他：	慰労金 6,780 千円（入所施設 1,400 千円、その他事業所 5,200 千円、相談支援専門員 180 千円）＋役務費
	決 算 額	6,470 千円
	決算額の内訳等	入所施設 5 事業所 1,400 千円、その他事業所 49 事業所 4,900 千円、 相談支援専門員 17 人 170 千円
経過・実績	○ 申請期間：8/21～3/31 ○ 申請受付：市民生活部福祉課 ○ 交付決定・給付：市 ◎ 給付件数：26 法人 60 事業所 ※ 令和 3 年 1 月 13 日支払完了	
成果	○ コロナ禍の中で、障害者の生活支援に従事する職員への慰労金として給付することができた。 ○ 26 法人中 22 法人で職員への慰労金として給付され、4 法人で休憩室ソファ、冷蔵庫等、職員の福利厚生費として活用された。	
反省点等	○ 市として緊急に支給できるよう対応したが、10 月 1 日以降の申請が 6 法人であった。 ○ 議会でも指摘を受けたが、事業所ごとの支給としたため、事業所、法人によって従業員が受け取る慰労金の額に差が生じている。 ○ また、同法人内の他市事業所に従事している従業員には慰労金が支給されないため、その分配に悩まれた事業所もあった。 ○ 慰労金として給付した職員への意見聴取は行っていないため、従事者に対してその後どのような効果があったかは把握できていない。また、有効な支援策であったか詳細の検証も行っていないことが反省である。	

一覧の番号	記入担当課
5	高齢者支援課

第 5 弾

事業名 「 高齢者施設等従事者慰労金支給事業 」

概要	目的	○ 新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中、感染リスクが高い最前線で献身的に業務に当たる高齢者施設等の従事者に感謝し、その労に報いるため、事業者を通じて慰労金を支給するもの。
	対象者	○ 市内に所在する高齢者施設等の事業者 「高齢者施設等」とは以下のとおり。 指定居宅サービス事業所、指定介護予防サービス事業所、指定地域密着型サービス事業所、指定地域密着型介護予防サービス事業所、指定居宅介護支援事業所、介護保険施設、指定介護予防・生活支援サービス事業所（総合事業の指定事業所）等、その他の高齢者向けの入所施設。
	内容	○居宅介護支援事業所（8事業所 32人）ケアマネジャー1人あたり1万円 計 320,000円 ○居住系（定員15人以下） 100,000円×7事業所=700,000円 ○居住系（定員30人以下） 200,000円×7事業所=1,400,000円 ○居住系（定員31人以上） 300,000円×9事業所=2,700,000円 ○その他の事業所等 100,000円×49事業所=4,900,000円 ○口座振込手数料 5,000円 合計 10,025,000円
	予算額	10,025千円
	予算額の積算その他：	11節 役務費 口座振込手数料 5,000円 18節 負担金、補助金及び交付金 10,020,000円
	決算額	9,710千円
	決算額の内訳等	18節 負担金、補助金及び交付金 41法人（76事業所分）9,710,000円
	経過・実績	○8月21日 市内41法人へ申請案内送付 ○10月1日 全事業者が申請書提出 ○9月9日～10月14日 慰労金支給 ○12月28日 全事業者から実績報告書
	成果	○ほとんどの事業者が勤務時間に応じ現金や商品券などで従事者へ分配し、一部、職員休憩室に置く備品や飲食物・飲料水等を購入された事業者もあった。従事者は喜んでいと聞いている。
	反省点等	○慰労金の額に幅があったが、従事者が多い事業所は一人当たりの額が少なくなり、法人内で不公平感が出るという意見もあった。 ○保育・障害・高齢と同時に実施するための擦り合わせに時間がかかった。

一覧の番号	記入担当課
6	子育て支援課

第 5 弾

事業名 「 保育施設従事者慰労金 」

概要	目的	○ 感染リスクが高い最前線で献身的に業務に当たる市内の保育施設の従事者に感謝し、その労に報いるため
	対象者	○ 市内に所在する保育施設（保育所、認定こども園、小規模保育事業所、学童保育所）を運営する事業者
	内容	○ 種別ごとに以下の慰労金を支給 保育所（利用定員 150 人以上） 1 施設当たり 25 万円 保育所（利用定員 90 人以上） 1 施設当たり 20 万円 保育所（利用定員 90 人未満） 1 施設当たり 15 万円 認定こども園 1 施設当たり 25 万円 小規模保育事業所 1 施設当たり 5 万円 学童保育所（放課後児童クラブ） 1 支援単位当たり 5 万円
	予算額	4,054 千円
	予算額の積算その他：	慰労金 (250 千円×4 件) + (200 千円×6 件) + (150 千円×3 件) + (50 千円×28 件) + 振込手数料 4 千円
	決算額	4,050 千円
	決算額の内訳等	慰労金 (250 千円×4 件) + (200 千円×6 件) + (150 千円×3 件) + (50 千円×28 件)
経過・実績	○施設数：保育園 12、認定こども園 1、小規模保育事業所 9、学童保育所 19（支援単位） ○支給申請：各施設 ○支給決定・給付：市 ○従事者への分配：各施設（慰労金・慰労品） ○実績報告提出：各施設 ⇒対象の全施設が実施した。	
成果	○精神的負担も多い保育施設従事者の日々の努力や苦労に少しでも応えることができ、モチベーションの向上につながった。	
反省点等	○「慰労金は嬉しかったが金額が少なすぎて・・・残念」との意見が多数寄せられた（近隣市町に比べてもかなり少額であった）。 ○事業者に支給したため、市はスピード感をもって取り組めたが、各施設は分配金額や方法等の判断に苦勞されていた。	

一覧の番号	記入担当課
7	子育て支援課

第 5 弾

事業名 「 保育施設感染症対策支援事業 」

概要	目的	○ 保育施設における感染症拡大を防止するとともに、子どもを安心して育てることができる環境整備を支援
	対象者	○ 市内に所在する保育施設（保育所、認定こども園、小規模保育事業所、病児保育施設、学童保育所）
	内容	○ ①保育対策総合支援事業分と②子ども・子育て支援事業分は、平成31年度の実支出額との合計で1施設あたり50万円以内 ○ ③緊急包括支援事業分は、1施設あたり50万円以内 ○ 補助対象経費は以下のとおり ①・②：感染症対策を実施するために必要な消耗品費、印刷製本費、役務費、委託料、備品購入費及びリース料 ③：感染症対策を実施するために必要な報酬、給与、報償費、賃金、職員手当等、共済費、旅費、役務費、使用料及び賃借料、委託料、需用費、備品購入費並びに負担金、補助及び交付金
	予算額	34,692千円
	予算額の積算その他：	保育施設感染症対策支援事業費補助金：33,498千円 消耗品費、備品購入費（公立分）等：1,194千円
	決算額	30,054千円
	決算額の内訳等	保育施設感染症対策支援事業費補助金：28,931千円 消耗品費、備品購入費（公立分）等：1,123千円
	経過・実績	○施設数：保育園 13、認定こども園 1、小規模保育事業所 9、放課後児童クラブ 19（支援単位）、病児保育施設 1 ○交付申請：各施設 ○交付決定：市 ○実績報告提出：各施設 ⇒空気清浄機や電解水生成装置等の備品、消毒液やマスク等の衛生用品の購入等、施設ごとに感染症対策として必要となった経費を計上。
成果	○各施設が現場の状況に応じて柔軟に新型コロナウイルス感染症対策に取り組むことができた。	
反省点等	○補助対象経費が広範囲であったため、全施設が限度額までしっかりと対策を実施することを想定していたが、実際は備品や衛生用品の購入に充てた施設がほとんどであり、補助経費が少額な施設もあったため、各施設への情報提供がもう少し必要であったのではと考えている。	

一覧の番号	記入担当課
8	健康づくり課

第 5 弾

事業名 「 「新しい生活様式」移行支援事業 」

概 要	目 的	○ 新しい生活様式及び感染拡大予防ガイドラインの普及促進 ○ 新型コロナウイルスの感染拡大防止及び社会経済活動の両立
	対 象 者	○ 市内で事業を営む中小企業者等。 ○ 新しい生活様式及び感染拡大予防ガイドラインの実践による新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取組を実施し、経費を支払った者。 ※事業主の居住地は問わない
	内 容	○ 事業所ごとに5万円を上限として補助金を交付。複数事業所を持つ1事業者の上限は20万円。
	予 算 額	97,069 千円
	予算額の積算その他：	補助金 50 千円×940 件+事務費等 令和3年3月に減額補正 最終現計予算 50,744 千円
	決 算 額	16,849 千円
	決算額の内訳等	補助金：15,988,000 円 報酬・郵便料・手数料等：860,649 円
経過・実績	○申請期間：令和2年8月24日～令和3年3月31日 消印有効 ○申請受付：市 ○交付決定・給付：市 ◎給付件数：328件（申請335件、取下げ5件、不交付2件） ※4/30完了 ※残予算については、令和3年度に繰越して同事業拡大版に活用。	
成果	○感染防止対策に要した経費の軽減に繋がったことで、一定の感染対策が進んだと思われる。 ○特に空気清浄機やサーモカメラ等の機器は高額なため、本事業の活用を通して普及が進んだと思われる。	
反省点等	○事業の周知が十分に行き届かなかった。今後は、広報やHPだけでなく、家電量販店やホームセンター等にポスターを掲示する等の工夫が必要と思われる。 ○添付書類と申請様式が煩雑であるとの意見が多かった。 ○申請物品が感染症対策とみなせるのか判断に苦慮するものが多かった。	

一覧の番号	記入担当課
9	健康づくり課

第 5 弾

事業名 「 医療機関等従事者慰労金 」

概要	目的	○ 市内の医療機関等の従事者に感謝し、その労に報いることにより、医療サービスの継続性を確保するため。		
	対象者	○ 病院 ○ 医科診療所 ○ 歯科診療所 ○ 調剤薬局		
	内容	令和2年8月21日に市内に所在する医療機関等へ次の額の慰労金を支給する。 ○ 病院 500 千円 ○ 医科診療所 200 千円 ○ 歯科診療所 100 千円 ○ 調剤薬局 50 千円		
	予算額	16,027 千円		
	予算額の積算その他：		支援金 126 施設へ計 16,000 千円＋郵便料、手数料 27 千円	
	決算額	13,750 千円		
	決算額の内訳等	○病院	500 千円×1 施設	500 千円
	○医科診療所	200 千円×43 施設	8,600 千円	
	○歯科診療所	100 千円×27 施設	2,700 千円	
	○調剤薬局	50 千円×39 施設	1,950 千円	
経過・実績	○申請期間：8/21～翌年 3/31 ◎交付件数：110 件（申請 110 件） ※12/23 交付完了			
成果	○医療従事者等に対して市の慰労の意を伝えることができた。（間接的に、コロナ禍での継続的な医療サービスの確保につながった。） ○従事者数 1 人当たりの慰労金額を設定している他自治体と比較して、スピーディーに支給することができた。			
反省点等	○各医療機関に対して、原則均等払いを求めたため、医療機関内での格差はなかったが、従事者数の違いにより、医療機関ごとの格差が生じた。このため、厚生委員会からは「次に慰労金を支給する場合は医療機関ごとに差が出ない制度設計」を求められた。 ○一部の医療機関等側からも医療機関等による支給額の格差に対して不満の声があった。			

一覧の番号	記入担当課
10	税務課

第 5 弾

事業名 「 筑後市持続化給付金支給事業 」

概要	目的	○ 事業主への事業継続支援
	対象者	令和2年4月1日時点において市内に本社、本店などがある法人または筑後市に住民登録のある個人事業主で次のいずれかに該当するもの ① 国の「持続化給付金」(国給付金)の給付を受けた事業者 ② 県の「福岡県持続化緊急支援金」(県支援金)の給付を受けた事業者 ※令和2年12月1日より対象者拡大 令和2年4月1日時点において市内に事業所・事務所を有する法人または筑後市に住民登録のある個人事業主・市内に事業所事務所を有する個人事業主
	内容	○ 給付額 給付額は次の①～③のいずれか低い額(千円未満の端数がある場合は切り捨て) ① 国給付金または県支援金の給付額の10分の1 ② 20万円－市休業支援金等※1 ③ 「売上減少額」※2－(「国給付金または県支援金」＋「市休業支援金等」) ※1 市休業支援金等とは、他市町村からの休業支援金や国給付金または県支援金の受給等を要件とした給付金含む ※2 売上減少額とは、国給付金または県支援金の算定根拠によるもの
	予算額	当初 61,301千円、流用後 58,301千円
	予算額の積算その他： 給付金 60,000千円(1,000事業所想定)＋事務委託料等	
	決算額	50,187千円
	決算額の内訳等	報酬：713千円、職員手当等：54千円、共済費：153千円、費用弁償：49千円 消耗品費：23千円、役務費：72千円、給付金：49,123千円 ※409事業主に支払済(最終支払日：令和3年4月22日)
経過・実績	○申請期間：8/24～3/31(延長前2/26まで) 消印有効 ○申請受付：市新型コロナウイルス感染症対策本部 ○交付決定・給付：市新型コロナウイルス感染症対策本部 ◎給付件数：409件(申請418件) ※4/22支払完了 ※3月に家賃軽減支援金給付事業へ3,000千円流用	

<p>成果</p>	<p>○当初の対象事業者数は1,000事業所での想定であったが、409事業所に49,123千円給付することができた。(対象事業所数は40.9%であったものの予算執行率86.08%)</p> <p>○12月1日に支給対象者拡大をし、19事業所(5法人、14個人事業主)に対し、2,150千円給付することができた。</p>
<p>反省点等</p>	<p>○制度の周知については、市ホームページ・広報への掲載や商工会議所の会報への掲載をしてもらい、できるだけ制度の周知を行ったが、制度内容が浸透しきれなかった面は否めない。</p> <p>○時間的な余裕がないなかで、制度設計の段階で十分に検討を行うべきであった。(結果として支給対象拡大をすることとなったため。)</p>

一覧の番号	記入担当課
11	都市対策課

第 5 弾

事業名 「 筑後市観光バス・タクシー・宿泊事業者応援給付金 」

概要	目的	○ 感染症予防及び感染拡大防止対策の環境整備支援 ○ 観光事業継続の応援																										
	対象者	○ 市内に本社又は事業所を有する観光バス事業者又はタクシー事業者 ○ 市内に主たる営業所を有する自動車運転代行業者 ○ 市内に宿泊施設を有する宿泊事業者 ※ 事業主の居住地は問わない																										
	内容	○ <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">観光バス事業者</td> <td>対象車両1台当たり5万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">タクシー事業者</td> <td>対象車両1台当たり2万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">自動車運転代行業者</td> <td>対象車両1台当たり2万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">宿泊事業者</td> <td>宿泊定員が1人以上20人未満</td> <td>10万円</td> </tr> <tr> <td>宿泊定員が20人以上40人未満</td> <td>20万円</td> </tr> <tr> <td>宿泊定員が40人以上60人未満</td> <td>30万円</td> </tr> <tr> <td>宿泊定員が60人以上80人未満</td> <td>40万円</td> </tr> <tr> <td>宿泊定員が80人以上</td> <td>50万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">備考 宿泊事業者については、宿泊施設ごとに支給するものとする。</td> </tr> </tbody> </table>	区分		支給額	観光バス事業者		対象車両1台当たり5万円	タクシー事業者		対象車両1台当たり2万円	自動車運転代行業者		対象車両1台当たり2万円	宿泊事業者	宿泊定員が1人以上20人未満	10万円	宿泊定員が20人以上40人未満	20万円	宿泊定員が40人以上60人未満	30万円	宿泊定員が60人以上80人未満	40万円	宿泊定員が80人以上	50万円	備考 宿泊事業者については、宿泊施設ごとに支給するものとする。		
	区分		支給額																									
	観光バス事業者		対象車両1台当たり5万円																									
	タクシー事業者		対象車両1台当たり2万円																									
	自動車運転代行業者		対象車両1台当たり2万円																									
宿泊事業者	宿泊定員が1人以上20人未満	10万円																										
	宿泊定員が20人以上40人未満	20万円																										
	宿泊定員が40人以上60人未満	30万円																										
	宿泊定員が60人以上80人未満	40万円																										
	宿泊定員が80人以上	50万円																										
備考 宿泊事業者については、宿泊施設ごとに支給するものとする。																												
予算額	4,525 千円																											
予算額の積算その他： 応援給付金 4,500 千円（見込み）＋事務諸経費 25 千円（消耗品費、郵便料、手数料）																												
決算額	4,410 千円																											
決算額の内訳等： 応援給付金 4,390 千円＋事務諸経費 20 千円（消耗品費）																												
経過・実績	○申請期間： 8/24～11/30 ○申請受付： 市都市対策課 ○交付決定・給付： 市 ◎給付件数： 17 件（申請 17 件）																											
成果	○業種が限定されていることから、該当事業所及びその規模を事前に把握したので、事業スケジュール及び予算を適切に設定できた。（最大 19 事業所） ○事業概要や提出資料等の詳細説明を、各事業所に個別に行ったため、混乱も無く、高い申請率を得ることが出来た。 ○給付金は、主にマスク、非接触型体温計、空気清浄器、消毒液、飛沫防止セパレーター、キャッシュレス決済機器等の購入の一助となっており、事業目的を果たしている。																											
反省点等	○代行業者の大半が 1 台で行っているため、給付額が少額だった。（事業者によっては、手間を考え申請しないと判断したようである）																											

一覧の番号	記入担当課
12	消防 警防課

第 5 弾

事業名 「 救急車等への除染装置配備 」

概	目的	○ 救急車両等にオゾン殺菌器を備えることで、感染患者の救急搬送等に伴う感染リスクを低減させる。
	対象者	○ 救急車両 2 台及び事務室等
	内容	○ 各種感染対策として、救急車及び移動式除染装置の配備。
	予算額	2,490 千円
	予算額の積算その他：	
	決算額	713 千円
要	決算額の内訳等	令和 2 年度部分支払い 713 千円 ■ 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、一部年度内に納入が間に合わなかったもの。 <ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度納入 BT-03 一式 2 台：713 千円 ・令和 3 年度繰越 BT-088 一式 1 台：1,433 千円 ※繰越事業分については、6 月 29 日に納入完了 ※繰越事業分も含めた総事業費決算見込額は 2,145 千円
	経過・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○令和 2 年 12 月 17 日 入札：不調 ○令和 3 年 1 月 21 日 入札：落札業者 福岡トヨタ自動車 ○令和 3 年 3 月 2 日 納入遅延についての報告受領 ○令和 3 年 3 月 3 日 履行期限を 3/31 から 9/30 に変更 ○令和 3 年 3 月 16 日 一部納入（救急車 2 台に設置） ○令和 3 年 3 月 24 日 議会にて繰越明許議決 ○令和 3 年 3 月 24 日 物品売買変更契約書締結（納期延長） [繰越] ○令和 3 年 6 月 29 日 BT-088 一式納入 [完了]
成果	○救急車内で搬送患者・救急隊員に影響のない安全最大濃度を常に維持することで、感染リスクを軽減している。	
反省点等	<ul style="list-style-type: none"> ○特殊な装置である為、業者選定に時間を要した。 ○1 回目の入札が不調に終わり、契約が遅延した。 ○新型コロナウイルス感染拡大により一部納入出来ず、年度をまたぐ結果となった。 	

一覧の番号	記入担当課
13	学校教育課

第 5 弾

事業名 「 学習支援員等配置事業 」

概	目的	○ 新型コロナウイルス感染症対策
	対象者	○ 市内小中学校
	内容	○ 学習支援員及びスクールサポートスタッフの配置
	予算額	11,983 千円
	予算額の積算その他： 報酬：11,276 千円、共済費：36 千円、費用弁償：671 千円（うち補助対象外 240 千円） 計 11,983 千円	
要	決算額	7,632 千円
	決算額の内訳等	■単独事業分 175,922 円 ■補助事業分 7,455,686 円 うち市町村立学校学習指導員等配置事業補助金（10/10）7,455,000 円
	経過・実績	○配置期間： 令和 2 年 9 月～令和 3 年 3 月 ◎配置件数：件 市内小学校 11 校 市内中学校 3 校
成果	○市内小中学校に学習支援員（延べ 16 人）及びスクールサポートスタッフ（11 人）の配置を行い、学校再開後の感染リスクの低減を行うことができた。また、学習支援員等の配置を行うことで学校の教諭等の負担を減らし、教諭が子どもと向き合う時間を確保ができた。	
反省点等	○学習支援員は全校に配置できたが、スクールサポートスタッフは人の手配が難しく、3 校（下妻小、古島小、西牟田小）に対しては配置することができなかった。	

一覧の番号	記入担当課
14	学校教育課

第 5 弾

事業名 「小中学校再開支援事業【第1弾】」

概 要	目 的	○ 学校が学校再開にあたり、感染症対策等を徹底しながら学習の保障を行う
	対 象 者	○ 小中学校の児童生徒および教職員
	内 容	○ 学校再開にあたり、学校感染症対策の徹底及び学習保障を行うために必要な事業を、校長の判断で迅速かつ柔軟に行うことができるように、消毒液、マスク等購入のための消耗品費、サーキュレーター、加湿器等購入のための備品購入費等の予算を学校へ配分するもの
	予 算 額	19,500 千円
	予算額の積算その他：	小学校： 14,500,000 円 中学校： 5,000,000 円
	決 算 額	19,500 千円
	決算額の内訳等	小学校： 14,500,000 円 中学校： 5,000,000 円 学校保健特別対策事業費補助金（学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業 1/2） ※補助事業分の補助裏×1.0が臨時交付金算入額
経過・実績	○ 各学校に予算を配分し、学校感染症対策の徹底及び児童の学習保障を行うため、学校長の判断で迅速かつ柔軟に実施。 ・感染症対策等支援・・・消毒液、マスク、ポリ手袋、蛇口のレバー化等 ・3密対策・・・網戸、サーキュレーター、加湿器、バスの増便等 ・学びの保障・・・デジタル教科書、電子モニター、電子黒板等	
成果	○感染症対策に必要な保健衛生用品等の物品を購入することにより、児童生徒・教職員等の感染症対策を行うことができた。 ○教育活動に際して、3密を回避するため、対策に必要な物品の購入やバスの増便などを実施することができた。 ○デジタル教科書や電子モニターなどを用いることにより、児童生徒の効果的な学習につながった。	
反省点等		

一覧の番号	記入担当課
15	社会教育課

第 5 弾

事業名 「 公共施設予約システム 」

概	目的	○ オンラインで公共施設の予約ができるようにすることで、対面の機会を減らし、感染拡大防止につなげる。
	対象者	○ 市内外の公共施設利用者 ○ 市職員
	内容	○ 中央公民館ほか社会教育施設、公園施設の室場等について、オンラインを通じて予約ができるシステムの構築をする。
	予算額	5,720 千円
要	予算額の積算その他：	筑後市公共施設予約システム構築業務委託料 5,720 千円
	決算額	5,665 千円
	決算額の内訳等	筑後市公共施設予約システム構築業務委託料 5,665 千円
経過・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○8/24 プロポーザルの実施公告 ○10/15 プロポーザル審査完了・業者決定(株オーイーシー福岡支社) ○11/2 契約締結 ○3/29 システム構築完了確認 ○4/1 システム稼働開始 <p>R3/4/1 からサンコア、チクロス、及び公園施設の一部についてシステム構築及び運用開始。各小中学校、水田コミセン、サザンクス筑後及び公園施設一部は今後状況を整理しながら順次運用開始</p>	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○オンラインによる予約ができるようになったことにより、利用者の利便性が向上した。 ○今後オンラインによる予約方法の定着により、予約のための来庁が大幅に減少すると見込まれる。 	
反省点等	<ul style="list-style-type: none"> ○契約締結から運用開始までの期間が短かったこともあり、管理者(サンコア・チクロス)及び職員へのシステム操作に関する周知・教育期間が少なかった。 	

第 6 弹

一覧の番号	記入担当課
1	防災安全課

第 6 弾

事業名 「 防災支援体制整備事業 」

概	目 的	○ 避難所と災害対策本部の分離による感染拡大の防止
	対 象 者	○ 市民及び災害対策本部員
	内 容	○ 災害対策本部の移転に伴う工事
	予 算 額	4,550 千円
	予算額の積算その他：	
要	決 算 額	3,986 千円
	決算額の内訳等	防災行政通信ネットワークシステム移設費用 3,190 千円、 パーティション設置工事 325 千円、大型モニター購入費 471 千円
経過・実績		○10/12 防災行政通信ネットワークシステム移設完了 ○11/12 大型モニター設置完了 ○1/29 パーティション設置工事完了
成果		○災害時の避難所となるサンコアから東庁舎 3 階に災害対策本部を移転することで、避難者と本部従事職員との接触を減らすことにつながった。 ○本部が移転することで、サンコアの避難所の収容能力が増加し、また、発熱者や配慮が必要な避難者を分離するための部屋も確保することができた。
反省点等		

一覧の番号	記入担当課
2	教育総務課

第 6 弾

事業名 「 筑後市家庭学習環境整備支援事業 」

概	目的	○ 小・中学校臨時休校時における児童生徒の学びを保障できる家庭学習環境を構築する。
	対象者	○ 筑後市立小・中学校に在籍する児童生徒の保護者 ※インターネット環境のない世帯が対象。
	内容	○ 新たに整備するインターネット回線に係る経費に対し 1 万円を上限に補助。
	予算額	2,000 千円
要	予算額の積算その他： 補助金 10 千円×200 件	
	決算額	10 千円
	決算額の内訳等	補助金 10 千円×1 件
経過・実績	<p>○申請期間：10/1～3/31</p> <p>○交付決定・給付：市</p> <p>※R2. 10. 8 保護者へ家庭学習環境整備のお願いと補助事業の周知</p> <p>※R3. 1. 5 オンライン学習のための家庭での環境整備のお願いと現状把握のためのアンケート実施</p> <p>◎給付件数：1 件（申請 1 件）</p>	
成果	<p>○補助金の交付件数は 1 件であったが、この補助金の制度設計前（令和 2 年 5 月）のアンケートでは家庭でインターネットが利用できない世帯の割合が 6. 2%程度（推計 260 世帯）であったのに対し、令和 3 年 1 月に実施した全保護者アンケートでは、インターネットを利用することができない世帯は 16 世帯であった。家庭への周知により家庭学習環境の整備は進んでいるものと考えられる。</p>	
反省点等	<p>○スマートフォンによるインターネット利用が可能な世帯は対象外としていたため、問い合わせを受けた世帯の多くは補助対象外であった。また、アンケートにてインターネットが利用できないと回答した 16 世帯に直接アプローチしたが、今回の補助制度ではインターネット回線導入の動機付けとならなかった。タブレットの持ち帰り活用時には、オフラインでの利用ができる教材の活用など工夫をすることで、全児童生徒が利用できるよう配慮する。</p>	

このページは空白です。

第7弾

1 プレミアム商品券発行事業補助金【第2弾】

一覧の番号	記入担当課
1	商工観光課

第 7 弾

事業名 「 プレミアム商品券発行事業補助金【第2弾】 」

概	目 的	○ 市内の中小小売店等の販売促進及び商店街の活性化 ○ 市内の消費喚起
	対 象 者	○ 市民 ○ 市内の筑後商工会議所会員事業所
	内 容	○ 発行総額 120,000 千円（プレミアム分 20%）分のプレミアム付き商品券を発行し、プレミアム分 12,000 千円うち、8,500 千円を補助金として交付する。
	予 算 額	8,500 千円
	予算額の積算その他： 補助金 25,000 千円	
要	決 算 額	継続中（R3.7.5 終了予定）
	決算額の内訳等	
経過・実績	<p>○予約期間：R3.1.4～1.15 消印有効</p> <p>○引換期間：R3.2.8～2.19</p> <p>1 回目の引換で残った場合、繰り上げ当選を行い、完売するまで繰り上げ当選を行い、完売。</p> <p>○対面販売：なし</p> <p>○有効期間：R3.2.8～R3.6.15</p> <p>○登録店数：300 事業所</p>	
成果	○	
反省点等	○	

一覧の番号	記入担当課
2	学校教育課

第 7 弾

事業名 「小中学校再開支援事業【第2弾】」

概 要	目 的	○ 学校が学校再開にあたり、感染症対策等を徹底しながら学習の保障を行う
	対 象 者	○ 小中学校の児童生徒および教職員
	内 容	○ 福岡県が、国の学校保健特別対策事業費補助金（学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業）加算地域に指定され補助額が増額されたことに伴い同補助金を活用し、「小中学校再開支援事業【第1弾】」と同様に、学校へ予算を配分するもの
	予 算 額	19,500 千円
	予算額の積算その他：	小学校： 14,500,000 円 中学校： 5,000,000 円
	決 算 額	19,472 千円
	決算額の内訳等	小学校： 14,472,518 円 中学校： 4,999,915 円 学校保健特別対策事業費補助金（学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業 1/2） ※補助事業分の補助裏×1.0 が臨時交付金算入額
経過・実績	○ 各学校に予算を配分し、学校感染症対策の徹底及び学習保障を行うため、学校長の判断で迅速かつ柔軟に実施。 ・感染症対策等支援・・・消毒液、マスク、ポリ手袋、蛇口のレバー化等 ・3密対策・・・網戸、サーキュレーター、加湿器、バスの増便等 ・学びの保障・・・デジタル教科書、電子モニター、電子黒板等	
成果	○感染症対策に必要な保健衛生用品等の物品を購入することにより、児童生徒・教職員等の感染症対策を行うことができた。 ○教育活動に際して、3密を回避するため、対策に必要な物品の購入やバスの増便などを実施することができた。 ○デジタル教科書や電子モニターなどを用いることにより、児童生徒の効果的な学習につながった。	
反省点等		

一覧の番号	記入担当課
3	学校教育課

第 7 弾

事業名 「小中学校修学旅行キャンセル料」

概要	目的	○ 感染症対策等のため学校が修学旅行の中止等を決定した際のキャンセル料等の費用を補助する
	対象者	○ 小中学校の保護者
	内容	○ 感染者発生や感染症対策等のために学校が修学旅行を中止又は延期を決定した場合又は児童生徒が新型コロナウイルス感染症への感染の疑い等により修学旅行に参加しなかった場合のキャンセル料等の費用を小中学校に在籍する児童生徒の保護者が支払った場合は、当該キャンセル料等に相当する経費を市が当該保護者に対し補助を行うもの
	予算額	12,142 千円
	予算額の積算その他：	小学校：2,265 千円 中学校：9,877 千円
	決算額	24 千円
	決算額の内訳等	・羽犬塚小学校 1,000 円 ・西牟田小学校 1,450 円 ・筑後北中学校 21,950 円
経過・実績	○ 筑後市立小中学校修学旅行キャンセル料等補助金交付要綱に基づき補助 ○ 補助件数：3 件	
成果	○ 感染症対策等のために修学旅行をキャンセルした際の費用を市が補助することにより、児童生徒の保護者の経済的な負担を軽減することができた。 ○ 修学旅行キャンセル料等補助金により安心して修学旅行に参加してもらうことができた。	
反省点等	○ 感染の状況によるため予算積算の際の見込みが難しい。	

第 8 弹

一覧の番号	記入担当課
1	議会事務局

第 8 弾

事業名 「 議会 ICT 化事業 」

概	目的	○ 議会にタブレット端末を導入し、ICT化を進める ○ オンラインによる会議、研修、情報共有など議会活動を継続できる環境を整備する
	対象者	○ 議会（議員・事務局）
	内容	○ タブレット端末の導入
	予算額	2,955 千円
	予算額の積算その他： 備品購入費（タブレット 22 台）1,980 千円、その他 975 千円	
要	決算額	全額明許繰越
	決算額の内訳等	
経過・実績	<p>令和 3 年度予定</p> <p>○業者選定：～8 月 契約準備</p> <p>○契約、納入：～9 月</p> <p>○説明会等：10～11 月</p> <p>※その後、12 月定例会から試行</p> <p>※令和 2 年度では、導入経費のみを予算化しており、運用経費（通信費）に関しては、令和 3 年度に単費予算化済。</p>	
成果	/	
反省点等	/	

一覧の番号	記入担当課
2	市民課

第 8 弾

事業名 「 行政手続オンライン化（コンビニ交付）事業 」

概	目的	○ 感染拡大防止のため、市民の来庁時の感染リスクを低減する。
	対象者	○ 市民
	内容	○ 住民票（写）と印鑑登録証明書のコンビニ交付のための環境整備を行うもの
	予算額	10,680 千円
要	予算額の積算その他： 導入関連委託料 10,180 千円、 需用費他 500 千円	
	決算額	全額明許繰越
	決算額の 内訳等	
経過・実績 (導入スケジュール)		<p>○交付の際の手数料額設定について方針決定を行い、12月議会において必要な手数料条例の一部改正を行う。</p> <p>○令和4年4月からの運用開始に向け、9月に委託業務契約締結を行い準備を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム設計等：10月予定 ・開発・導入：10月中旬～12月末 ・システム確認試験：一部12月中旬～ ・業務運用試験：2月当初～ ・コンビニ実店舗試験：2月末～3月当初
成果		
反省点等		

一覧の番号	記入担当課
3	福祉課

第 8 弾

事業名 「 失業者支援給付金事業 」

概要	目的	○ 令和 2 年度中に事業主都合により失業した市民の苦労を労うための見舞金
	対象者	以下の要件を全て満たす人 ○ 令和 2 年度中に事業主都合により失業したこと ○ 失業の 3 ヶ月前の日から見舞金の給付申請日まで、継続して筑後市の住民基本台帳に登録されていること ○ 見舞金の給付申請日時点において生活保護法の規定による保護を受けていないこと ○ 暴力団員でないこと ○ 暴力団または暴力団員と密接な関係を有しないこと
	内容	○ 1 人 10 万円を支給 ※ 給付は対象者 1 人につき 1 回まで
	予算額	30,087 千円
	予算額の積算その他： 見舞金 3,000 千円+役務費等	
	決算額	全額明許繰越
	決算額の内訳等	
	経過・実績	○ 申請期間：令和 3 年 4 月 26 日～10 月 31 日 ○ 申請受付：市民生活部福祉課 ○ 交付決定・給付：市 ○ 申請件数：35 人（令和 3 年 5 月 21 日時点） ◎ 給付件数：19 人（令和 3 年 5 月 21 日支払分のみ）
成果		
反省点等		

一覧の番号	記入担当課
4	高齢者支援課

第 8 弾

事業名 「 介護認定審査会リモート環境整備事業 」

概 要	目 的	○介護認定審査会委員の感染拡大防止を図る
	対 象 者	○介護認定審査会委員 30 名（医療・介護等従事者）・事務局 （1回の会議で6名 ×年間約80回）
	内 容	○介護認定審査会をリモート形式で実施ができるよう端末を整備する
	予 算 額	8,551 千円
	予算額の積算その他： システム入替作業 550 千円、システム設定 275 千円、チームライセンス 246 千円、審査会用 PC7,480 千円	
	決 算 額	全額明許繰越
	決算額の内訳等	
経過・実績スケジュール（予定）	○設計・発注：～6月中旬 ○納入・整備・設定：～8月末 ○各委員への操作説明、機器入替：～9月末 ○新システム導入開始：10月～	
成果	/	
反省点等	/	

一覧の番号	記入担当課
5	子育て支援課

第 8 弾

事業名 「 臨時特別出産祝金 」

概要	目的	○ 次代を担う子どもの出産を祝福 ○ 子育て世帯が安心して育児に取り組めるよう支援
	対象者	○ 令和4年4月1日までの間に生まれた子どもを出産した母 ※出産した日から当該祝金の申請日まで継続して本市の住民基本台帳に記録されている者 ※出産日の翌日から起算して3月を経過する日までに申請
	内容	○ 対象の子ども1人につき5万円を支給 ○ 第4弾にて実施した当該祝金について、出生期間を1年間延長するもの
	予算額	21,087 千円
	予算額の積算その他： 祝金 50 千円×420 件+事務費（郵便料、振込手数料等）87 千円	
	決算額	第4弾の残予算と合わせて明許繰越
	決算額の内訳等 令和3年度へ繰越	
経過・実績	○ 第4弾の残予算の一部とともに令和3年度へ繰越（繰越額：23,592 千円） 【繰越額の積算】 祝金 50 千円×470 件+事務費（郵便料、振込手数料）92 千円	
成果	○ 子育て世帯への経済的な支援により、コロナ禍での育児不安を払拭するための一助となった。	
反省点等	○ 今回の取組（臨時特別出産祝金の期間延長）は、全国的でも特徴的な取組であるとして、日経新聞に掲載された。	

一覧の番号	記入担当課
6	財政課

第 8 弾

事業名 「 筑後市立病院交付金（新型コロナウイルス感染症対策分） 」

概 要	目的	新型コロナウイルス感染症患者を積極的に受け入れている筑後市立病院（第二種感染症指定医療機関）の経営状況が厳しいため、国・県等の支援策の対象とならない経費等について支援を行い、引き続き市民の生命と健康を守る安全な医療提供体制を構築する。	
	対象者	地方独立行政法人筑後市立病院	
	内容	対象とする感染症対策事業 (1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業 ア 保健所等からの依頼による、抗原検査、PCR 検査実施経費 イ 院内での集団感染等を防止するために必要な経費 (2) 新型コロナウイルス感染症患者受け入れに伴う診療・看護体制強化事業 ア 患者受け入れに伴い、病院機能の一部停止、医療体制の変更経費 (3) その他新型コロナウイルス感染症対策事業 ア その他感染症患者受け入れ及び病院内の感染防止対策事業であって、市長が特に必要と認める経費	
	予算額	30,000 千円	
	予算額の積算その他：	交付限度額 30,000 千円	
	決算額	30,000 千円	
	決算額の内訳等	(1) ア 保健所検査要請 534 人、その他 459 人 13,353 千円 (1) イ 院内感染防止スクリーニング（入院患者への PCR 事前検査） 抗原検査 243 件、PCR 検査 107 件 3,895 千円 (2) ア ①患者集中管理 県の病床確保計画フェーズ 3 に対応するため HCU を休止、隔離エリアへの人員集中配置等を実施 HCU 加算の減相当分 4 床×49 日 5,907 千円 ②クラスター対策事業 クラスター発生を防止するため、感染者収容病棟の空床コントロールを実施 8 床×26 日 7,888 千円 合計補助対象経費 31,043 千円 補助上限の 30,000 千円を交付	
	経過・実績	○交付申請 R3.3.29 ○交付決定 R3.3.31	
	成果	感染症患者受け入れ体制の確保及びクラスター等の院内完成防止を支援することができた。	
	反省点等	迅速な支援とするために短期間で予算措置、補助要綱等を制定したため、当該時期の業務負荷（市・病院双方）が高まった。	

一覧の番号	記入担当課
8	農政課

第 8 弾

事業名 「 新入生支援事業 」

概	目的	○ コロナ渦で依然として厳しい状況にある花き農家を支援するため、市内小中学校に入学する児童生徒へ花束を贈呈する。
	対象者	○ 令和3年4月に市内小中学校に入学する児童生徒。
要	内容	○ 入学する児童生徒に市内産花きを活用した花束を贈呈。 ○ 保育園、小中学校に上記同様にスタンド式花飾りを贈呈。
	予算額	1,842 千円
	予算額の積算その他：	花束：1,000 円（小学生）×522 名＝522,000 円 1,200 円（中学生）×466 名＝559,200 円 花飾り：20,000 円（小中学校）×14 校＝280,000 円 30,000 円（幼・保育園）×16 園＝480,000 円
	決算額	1,812 千円
決算額の内訳等	花束：1,000 円（小学生）×500 名＝500,000 円 1,200 円（中学生）×460 名＝552,000 円 花飾り：20,000 円（小中学校）×14 校＝280,000 円 30,000 円（幼・保育園）×16 園＝480,000 円	
経過・実績	○納品日：幼・保育園 令和3年4月1日（木）。 小学校 令和3年4月9日（金） 中学校 令和3年4月8日（木）	
成果	○市内花き農家の売上額に貢献できたと思われる。 ○入学する児童生徒、歓迎する側の幼・保育園及び小中学校の式典を市内産の花により飾ることができ、保護者や関係者の感想としては好評だった。 ○多くの方から「継続してほしい」との声があった。	
反省点等	○生活様式が一変し、冠婚葬祭における花きの需要が減少しているなか、花き農家に対する応援は有効な事業のひとつと思われるが、予算的に継続性が望めない点が課題と思われる。 ○広報等で周知した（周知が曖昧だった）ため、市内在住で市外の公立学校、国・私立学校へ入学する児童生徒の保護者から納得がいかない、というご意見（3件）をいただいた。周知（内容）の方法は課題と思われる。	

一覧の番号	記入担当課
9	商工観光課

第 8 弾

事業名 「 飲食店応援クーポン発行事業【第2弾】 」

概要	目的	○ 市内の飲食店の事業継続支援 ○ 市内産業の維持 ○ 市内の消費拡大の促進
	対象者	○ 市民 ○ 市内の飲食店 参加希望店舗
	内容	○ 1店舗あたり 500 円のクーポン券を 200 枚配布し、参加店舗利用者が 2,000 円商品購入ごとに 1 枚 (500 円) 配布し、1,000 円購入ごとに 1 枚 (500 円) を利用できる。発行総額 (500 円×200 枚×60 店舗、500 円×100 枚×20 店舗) 7,000, 千円のクーポン券を発行し、回収分を各店舗に補助金として交付する。
	予算額	第1弾の残予算で対応
	予算額の積算その他	第1弾の残予算 7,324 千円 (補助金 7,000 千円、委託料 300 千円、郵便料・手数料 24 千円) を明許繰越
	決算額	明許繰越
	決算額の内訳等	
経過・実績	○ 申込期間：R3.4.1～4.14 消印有効 ○ 参加店舗：68 店舗 ○ 利用期間：R3.5.1～6.15 ○ 換金期間：R3.6.16～6.30 ○ 実績報告：4月30日に新型コロナウイルスの感染拡大のため、事業の延期が決定。	
成果		
反省点等		

一覧の番号	記入担当課
10	商工観光課

第 8 弾

事業名 「 筑後市指定管理者事業継続支援金（恋ぼたる） 」

概要	目的	○ 利用料金収益が著しく落ち込んだ本市の指定管理者制度導入施設の指定管理者に対し事業継続を支援する。
	対象者	○ 利用料金収益が著しく落ち込んだ本市の指定管理者制度導入施設の指定管理者。
	内容	○ 交付額は令和2年3月の利用料金収益の実績額と平成31年度の収支予算書における相当額との差額及び令和2年4月から令和3年1月までの利用料金収益の実績額を10で除した額に12を乗じた額と令和2年度の収支予算書における利用料金収益の額との差額の合計額に2分の1を乗じて得た額とし、その額が1000万円を超えるときは1000万円とする。なお温泉館と物産館は合算して算出する。 支援金：1事業者×1千万円＝1千万円
	予算額	10,000千円
	予算額の積算その他：	内容欄に記載
	決算額	10,000千円
	決算額の内訳等	内容欄に記載
経過・実績	○申請受付：市 ○交付決定・給付：市 ◎給付件数：1件（申請1件） ※3/31完了	
成果	○恋ぼたるの令和2年度売り上げ（196,258千円見込み：継続支援金10,000千円含む）は、平成31年度（230,917千円）に比べると-34,659千円となった。また、令和2年度決算見込み額（R3.4.26現在）は、-3,723千円（継続支援金10,000千円含む）のマイナス収支であった。継続支援金は指定管理者の事業継続に貢献できたと思われる。	
反省点等	○コロナの影響は当分の間継続すると見込まれ、恋ぼたるの経営をひっ迫すると思われる。	

一覧の番号	記入担当課
11①	教育総務課

第 8 弾

事業名 「 中学校特別教室への空調整備事業（羽犬塚中） 」

概	目 的	○教育環境向上 ○災害時の避難所機能向上
	対 象 者	○羽犬塚中学校
	内 容	○特別教室への空調設備設置
	予 算 額	39,832 千円
	予算額の積算その他： 設計委託料：2,112 千円、工事請負費：37,720 千円	
要	決 算 額	全額明許繰越
	決算額の内訳等	
経過・実績		○令和 2 年度補正予算を令和 3 年度へ明許繰越 繰越額：39,832 千円 ○事業予定 R3.5 設計委託入札 R3.9 工事入札 R3.12 竣工予定
成果		
反省点等		

一覧の番号	記入担当課
11②	教育総務課

第 8 弾

事業名 「 中学校特別教室への空調整備事業（筑後北中・筑後中） 」

概	目 的	○教育環境向上 ○災害時の避難所機能向上
	対 象 者	○筑後北中学校、筑後中学校
	内 容	○特別教室への空調設備設置
	予 算 額	76,217 千円
	予算額の積算その他： 設計委託料：4,040 千円、工事請負費：72,177 千円	
要	決 算 額	全額明許繰越
	決算額の内訳等	
経過・実績		○令和2年度補正予算を令和3年度へ明許繰越 繰越額：76,217 千円 ○事業予定 R3.5 設計委託入札 R3.9 工事入札 R3.12 竣工予定
成果		
反省点等		

一覧の番号	記入担当課
12	社会教育課

第 8 弾

事業名 「筑後市指定管理者事業継続支援金（サザンクス）」

概	目的	○ 新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業や利用者の利用控え等の影響により、利用料金収益が著しく落ち込んだ本市の指定管理者制度導入施設の指定管理者に対し、その事業継続を目的に筑後市指定管理者事業継続支援金を交付する。
	対象者	○ サザンクス筑後指定管理者
	内容	○ 筑後市指定管理者事業継続支援金の交付
	予算額	10,000 千円
要	予算額の積算その他： 臨時交付金 10,000 千円	
	決算額	10,000 千円
	決算額の内訳等	臨時交付金 10,000 千円
経過・実績	○令和3年3月25日 支援金交付申請 ○令和3年3月25日 支援金交付決定通知	
成果	○事業継続支援金の交付により、指定管理者の事業継続及び再開の一助となった。	
反省点等		

一覧の番号	記入担当課
13	社会教育課

第 8 弾

事業名 「図書行政推進（電子図書、書籍消毒機）」

概 要	目的	○新型コロナウイルス感染拡大で図書館来館を躊躇している図書館利用者が来館せずインターネット利用で読める電子図書を導入し、市民の読書環境を整備する。 また、図書館利用者に安心安全に来館いただくため、本を借りる際、利用者が本を消毒できるよう消毒機を設置する。
	対象者	○市民
	内容	○電子図書及び本の消毒機整備
	予算額	5,769 千円
	予算額の積算その他：	電子図書導入費用 4,992 千円 本の消毒機 847 千円
	決算額	全額明許繰越
	決算額の内訳等	
経過・実績	○本消毒機 5月 設置業者決定（6月末設置） ○電子図書 8月 電子化図書選書 9月 業者決定予定 11月 導入予定	
成果		
反省点等		

このページは空白です。